

アンケート調査から見た二松学舎大学 Season Sports①について

金子 茂

I 研究の目的および方法

二松学舎大学では、1991年大学設置基準改正以降、その大綱化を受けて平成8年（1996）年4月から、文学部の教科課程（カリキュラム）の全面改定にともない、国際政治経済学部においても一般教養的科目群の教科課程は、総合科目として改定された。その改定に伴い文学部、国際政治経済学部の総合科目は、4つに区分されて配置されることになった。つまり、旧一般教育科目は、(1類—諸科学の概論、2類—文化、歴史、3類—生活・環境、保健体育（健康スポーツ）、4類—語学）などである。1)、2)、3)、従来、別枠として扱われてきた保健体育は、他の科目と同様に位置付けられ3群に配置された。また、これを契機に、二松学舎大学の保健体育（体育）が、「健康スポーツ」という名称に変更になった。4) 従来から保健体育（体育）という名称で使用されてきたものから、健康づくりを目論む教科部門として、より親しみやすく、運動やスポーツの実践活動を実際的なイメージを持って受講して貰おうと、また時代の変化に対応する柔軟な取り組む姿勢などの意味もこめて慎重な議論の結果、名称の変更することになった。

更に大きな変化は、実技2単位、講義2単位必修という体育の教科科目が、本学でも一般学生の卒業要件枠からはずされることになったことである。教職を希望する学生は、2単位の体育実技単位が義務づけられていることには変わりはないが、体育という重要な科目が、必修から選択制へと変化することはすこぶる大きな教

育的、歴史的な意味を持っているといえる。総合科目においては、健康スポーツに留まらず、多くの科目が必修科目から自由選択制へと移行したのである。因みに、二松学舎大学の実技の2単位、講義科目の2単位は、「健康スポーツ科学・4単位」、「健康スポーツ論・4単位」となった。

二松学舎大学の健康スポーツでは、平常の授業のほかに「シーズンスポーツ」という校外における野外授業を狙いとする夏と冬のコースを開設することになった。これは一般学生や、また教職を履修する学生の多様なニーズに対応することなども目論んで念願の短期のセッション科目である。実際には、シーズンスポーツ①と、シーズンスポーツ②の2つのコースである。シーズンスポーツ①は、夏の登山とハイキングが主な授業内容であり、シーズンスポーツ②は、冬のスキーを授業内容にしているものである。単位は、それぞれ2単位である。(表1)は、平成14年度のシラバスに掲載された授業内容である。

平成8年（'96）から始めたシーズンスポーツ①は、平成9年（'97）、平成10年（'98）、平成11年（'99）、平成12年（'00）、平成13年（'01）、平成14年（'02）と合計7回実施した。7回の実施で、男女合わせての参加人数は、322名である。その内訳は、男子が128名（39.8%）、女子が194名（60.2%）である。詳しくは、表2)に示した。5)

この研究は、シーズンスポーツ①を担当する金子がガイダンス時に行った事前調査(表3)と、事後ガイダンス時に行ったアンケート調査

表1 シラバスに示したシーズンスポーツ①

シーズンスポーツ①	担当教員名	開講期間	単位数
	金子 茂	セッション	2

授業の目的・目標

この授業は、登山、ハイキング、ニュースポーツなどを野外という大自然を舞台に展開する。人間は時に不便と思われる生活体験や自然体験を踏まえた上でこそ生きていることを強く実感することが出来る。自然に親しみ共同生活を通じて、生涯スポーツの方法を実践的に体得して行き、さらに生涯を通して継続的にスポーツ実践できる能力や態度を培っていくことを目的としている

授業計画

内	容
---	---

実践場所および宿泊場所

場 所：白樺高原・蓼科山・女神湖・御泉水・霧ヶ峰（車山・蝶々深山・物見岩・八島湿原）

宿 泊：蓼泉閣（国民宿舎）（〒384-2309 長野県北佐久郡立科町女神湖畔

< ☎0267-55-6600, FAX 0267-55-7190 >

実施期日および対象者

期 日：8月6日（月）、7（火）、8（水）、9（木）：（3泊4日）

対象者：二松学舎大学学生（≒50名）

引 率：金子茂（二松学舎大学）、ほか

参加費用：30,000円（振込は、あさひ銀行九段支店・普通預金1153087（口座名：学校法人 二松学舎）

振込期日：7月5日（金）まで（厳守）

日 程：

	6/30	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
第1日 8/6 (月)								集 開 講 講 合 式	御泉水 自然園観察			身 の 回 り 整 理	入 浴	夕 食	ガイ ダ ン ス	講 義	班 別 ミ ニ テ ィ ン グ	消 灯
第2日 8/7 (火)	起床 掃除 体操	朝 食	準 備	(日本百名山) 蓼科山登山 (2,530m) (昼食は山頂)						身 の 回 り 整 理	入 浴	夕 食	ガイ ダ ン ス	講 義	班 別 ミ ニ テ ィ ン グ	消 灯		
第3日 8/8 (水)	起床 掃除 体操	朝 食	準 備	(日本百名山) 霧ヶ峰 ハイキング 蓼泉閣～白樺湖～車山～蝶々深山～物見岩～ 八島湿原～白樺湖～蓼泉閣 (昼食は物見岩)						身 の 回 り 整 理	入 浴	夕 食	ガイ ダ ン ス	キャン プ ア フ ァ ィ ー ・ 班 別 対 抗 ア ト ラ ク シ ョ ン	ガイ ダ ン ス	消 灯		
第4日 8/9 (木)	起床 掃除 体操	朝 食	準 備	女神湖周辺散策				昼 食	感 想 文	閉 解 会 式 散	★天候により日程の変更もあります。							

- ・ 授業方法 登山、ハイキングなどの野外活動を中心に行う。なお、日程に関しては、活動予定を示したもので、天候、その他の事態等により、随時変更もある。
- ・ 評価方法 自然環境の中に如何なる態度で参加し、直接体験をしたか、また共同生活を行ったか。及び感想文も参考にして総合的に評価する。
- ・ テキスト 特に定めないが、プリントを配布。
- ・ 参考文献 キャンプテキスト（日本野外教育編、杏林書院）、野外活動—キャンプとユースホステル—（兼松保一著、ベースボールマガジン社）、山歩き入門（折立文彦著、土屋書店）、トレッキング入門（Outdoor編集部編、山と溪谷社）、やさしい山の歩き方（スタジオピーピング編、永岡書店）、中央アルプスと八つ岳（津野祐次、内田修著、山と溪谷社）、日本百名山、登山ガイド上、下（山と溪谷山岳図書編集部編、山と溪谷社）、日本百名山（深田久弥著、新潮文庫）、中高年のための登山学Q & A（岩崎元郎著、NHK出版）野外教育の実際（江橋慎四郎編著、杏林書院）など
- ・ その他 注意事項：1. ガイダンスは4月、6月、7月に行うので必ず出席する。
2. 受講者（参加決定者）は、ガイダンス時に事前調査票に添付する写真（3×3cm、裏に氏名・学生番号記入）を提出する。
3. ガイダンス時に、体調を整えるためのストレッチングや補強運動を行うが、日頃から体力づくりに心がけておく。なお、春 semester 定期試験終了後（7月下旬）に、直前長時間ガイダンスを実施する（受講者は全員参加すること）。全てのガイダンスの実施日時は、「教員からの連絡」箇所に掲示する。
4. 受講者は健康診断書を提出する。

表2 二松学舎大学シーズンスポーツ①男女の参加人数と事後ガイダンス時のアンケート調査票回収数

	平成8年 (’96)	平成9年 (’97)	平成10年 (’98)	平成11年 (’99)	平成12年 (’00)	平成13年 (’01)	平成14年 (’02)	各年度コミの 参加人数	各年度コミの 男女の参加比率
事前調査票 (基本台帳)	男子：20	9	16	15	23	19	26	128	39.8%
	女子：21	36	29	31	26	28	23	194	60.2
	合計：41	45	45	46	49	47	49	322	100.0
事後ガイダンス 時の男女コミの アンケート調査票	41	34	42	42	35	33	46	273	
アンケートの 回収率	100.0%	75.6	93.3	91.3	71.4	70.2	93.9	84.8	

表4を基礎にして、シーズンスポーツ①が、履修学生からどのように理解され、指示をされているのかなどを、今後の授業展開の基礎資料にするために、基礎的な統計的観点から眺めていくものである。統計的なものとしては、アンケート調査の度数分布と、1から5段階評価をして貰った各質問項目の度数分布と、その各質問項目の1から5段階の評価を、そのまま1点から5点と見なして平均値・標準偏差点を算出し、それをもとに眺めていくものである。

II 結果および考察

1. 事前調査票について

4月の新学期に、シーズンスポーツを受講したい学生に集まってもらい、出席カード(特性の)を配布する。受講したいか否かを確認して配布した特性の出席カードを提出して貰う。このカードを提出した学生のみが受講資格を持つということになっているからである。さらに、後日の登録の日に、カードを提出した学生のみが教務科への登録ができることになっている。次に、しかるべき日に大学教務課によるコンピューター抽選を行うのである。参加人数は指導や管理上から、定員を50名としているので、100名の応募があれば、50名は受講できないことになる次第である。授業内容が、登山やハイキングを主にすることから、ガイダンス時に登山やハイキングに耐えられる現在の健康・体力状態であることを十分理解してもらい、受講を

するか否かを決める主観的判定の材料の1つにして貰った。なお、4月の健康診断においても問題のないことも、受講する、しないの判断材料に当たったことは言うまでもない。たとえば、実際の事例であるが、膝の故障で、階段などを降りるとき無理な力がかかると突発的に外れてしまうなどという学生には、残念ながら遠慮があったこともある。

この事前調査票(表3)は、台帳といえるものであるから、写真を添付し、詳しく記入をして貰った。

2. シーズンスポーツ①の参加者の事前調査から見た健康意識

表5は、各年男子参加者の身長・体重である。各年により違いが見られるが、各年度をコミにした平均値標・標準偏差を見ると、 171.4 ± 5.99 cmである。体重は、 61.5 ± 9.07 kgである。男子体重の標準偏差が大きく、体重の重い軽い混在が示されているといえる。相関係数は、 $r=0.416$ である。身長・体重を記入してもらったのは、登山などのことを考えて、どの程度の体格をした学生が参加しているのかを知るためである。

表6の女子の身長・体重を眺めてみると、’97(平成9年)の体重が、 55.8 ± 9.30 kgである。明らかに他の年度を上回っているが、標準偏差値が9.30 kgと大きく、重い軽いものが混在しているといえる。各年度をコミにしも

表3 2002年二松学舎大学シーズンスポーツ①事前調査

平成		年度入学<文学部J・C><国際政治経済学部>		写 真			
学生番号			性 別			男・女	
ふりがな							
氏 名							
生年月日	昭 和 年 月 日		歳 (4月1日現在)				
大学でのクラブ・サークル等の活動 ()							
実 際 の	身 長	c m		理 想 の	身 長	c m	
	体 重	k g			体 重	k g	
現在の健康状態 (具体的に言葉で…)	1. わるい 2. 少しわるい 3. ふつう 4. よい 5. 非常によい					血液型 :	
現在の体力状態 (具体的な言葉で…)	1. ない 2. あまりない 3. ふつう 4. ある方 5. 非常にある方					既往症があれば書いて下さい	
食べ物の好き嫌い	1. ない 2. あまりない 3. ふつう 4. 少しある 5. 沢山ある						
好きな食べ物ベスト3 :	1.		2.		3.		
嫌いな食べ物ワースト3 :	1.		2.		3.		
スポーツ・運動好き嫌い	1. 嫌 い 2. どちらかと言えば嫌い 3. ふつう 4. どちらかと言えば好き 5. 好 き						
疲 労	1. 非常に疲れるタイプ 2. 少し疲れるタイプ 3. ふつう 4. あまり疲れないタイプ 5. 疲れないタイプ						
睡 眠	1. どこでも眠れる 2. まあ大丈夫 3. ふつう 4. 少し眠れない 5. 眠れない						
便 秘	1. どこでも快調 2. 比較的快調 3. ふつう 4. 少しは便秘になる 5. ひどい便秘になる						
参加理由 (主な理由3つに ○印を) その他参加理由・意見など:	1. 登山・ハイキングが好きだから 4. 教職の単位に必要だから 7. おもしろそうだから 10. 夏休みだから 2. 自然に触れたいから 5. 集団生活をしたいから 8. 友達と一緒にだから 3. 自然環境のいい所だから 6. 短期間の授業だから 9. 友達をつくりたいから						
現 住 所	〒				☎		
緊急連絡先 (ご家族などの)	住所 〒				☎		
	氏名				関係 :		

ので見ると、 158.4 ± 5.52 cm, 51.4 ± 7.40 kgである。相関係数は、 $r = 0.470$ である。平成13年度('01)の19歳の全国値・男子の171.0 cm, 62.7 kg, 女子の157.3 cm, 51.0 kg 6)と比較し

てみると、二松学舎大学の男子は同等、体重は全国値が1.2 kg上回っている。女子は身長で1.1 cm高く、体重では0.4 kgも上回っている。

(2) 表5の男子の5段階評価による「健康状

表4 2002年二松学舎大学 Season Sports①アンケート調査

調査：金子 茂

二松学舎大学の Season Sports①では、蓼科山登山・霧ヶ峰ハイキング・御泉水自然公園・女神湖畔周辺散策などを行いました。今後のシーズンスポーツ①の授業に生かす資料にするべくアンケート調査を実施しますので、下記の項目について回答してください。

★回答は数字に○印をつけて下さい。その他は自由に書いてください。

①. 時期について	
1. 時期は適当だったか	5 4 3 2 1
2. その他…	
②. 参加人数について	
1. 適当な人数だったか	5 4 3 2 1
2. その他…	
③. 施設について	
1. 宿舎全般の施設についてはどうか	5 4 3 2 1
2. その他…	
④. プログラムについて	
1. スケジュールは適当であったか	5 4 3 2 1
2. 朝の体操は	5 4 3 2 1
3. 夜の講義は	5 4 3 2 1
4. 夜のミーティングは楽しかったか	5 4 3 2 1
5. 蓼科山登山はよかったか	5 4 3 2 1
6. 霧ヶ峰ハイキングは楽しかったか	5 4 3 2 1
7. 御泉水自然公園・女神湖畔散策は楽しかったか	5 4 3 2 1
8. キャンプファイヤーは楽しかったか	5 4 3 2 1
9. 歌などについて	5 4 3 2 1
10. 写真について	5 4 3 2 1
11. その他…	
⑤. 食事について	
1. 宿舎食事はおいしくまた量的に適当だったか	5 4 3 2 1
2. その他…	
⑥. 健康について	
1. よく眠れたか	5 4 3 2 1
2. 便秘をしなかったか	5 4 3 2 1
3. 食欲はあったか	5 4 3 2 1
4. 普段と比較して体調はどうだったか	5 4 3 2 1
5. その他…	
⑦. シーズンスポーツのスタッフについて	
1. 先生(教員・ガイド)と親しくできたか	5 4 3 2 1
2. 先生の話しに興味を持って聞けたか	5 4 3 2 1
3. その他…	
⑧. シーズンスポーツの成果について	
1. 人間関係の大切さを認識したか	5 4 3 2 1
2. 真の人間的な触れ合いの機会を得たか	5 4 3 2 1
3. 新しい友人ができたか	5 4 3 2 1
4. 友人の新しい面を発見したか	5 4 3 2 1
5. 共同生活の重要性を認識したか	5 4 3 2 1
6. 規律正しい生活を認識したか	5 4 3 2 1
7. 協力・協調の精神を認識したか	5 4 3 2 1
8. 自然の大切さを認識したか	5 4 3 2 1
9. 自然の厳しさ、偉大さを認識したか	5 4 3 2 1
10. 自然の美しさを知ることができたか	5 4 3 2 1
11. その他…	
⑨. シーズンスポーツの感想	
1. 楽しかった	5 4 3 2 1
2. 苦しかった…	
3. 良い経験をした	5 4 3 2 1
4. もう一度山に登ってみたい	5 4 3 2 1
5. 他の人にもこの様なプログラムを進めたい	5 4 3 2 1
6. その他…	

Thank you

表5 シーズンスポーツ参加者の事前調査から見た健康意識(男子)

男子	1996 (平成8年) n=20	1997 (平成9年) n=9	1998 (平成10年) n=16	1999 (平成11年) n=15	2000 (平成12年) n=23	2002 (平成14年) n=26	各年の合計 n=109	
身長	172.7±5.42cm	170.4±7.94cm	171.7±3.54cm	171.3±3.89cm	172.5±6.95cm	169.7±6.93cm	171.4±5.988cm	
体重	59.2±5.74kg	58.9±8.10kg	61.2±6.76kg	61.5±9.69kg	65.5±10.4kg	60.9±10.7kg	61.5±9.07kg	
相関係数	r=0.564	r=0.377	r=0.335	r=0.103	r=0.399	r=0.571	r=0.416	
健康状態	5段階 人数 % 人数 % 5 2人 10.0→9人 45.0 4 4人 20.0 3 6人 30.0 2 5人 25.0→5人 25.0 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 1人 11.1→2人 22.2 4 1人 11.1 3 6人 66.7 2 1人 11.1→1人 11.1 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 1人 6.3→5人 31.3 4 4人 25.0 3 8人 50.0 2 3人 18.7→3人 18.7 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 2人 13.3→6人 40.0 4 4人 26.7 3 7人 46.7 2 2人 13.3→2人 13.3 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 5人 21.7→13人 56.5 4 8人 34.8 3 9人 39.1 2 1人 4.3→1人 4.3 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 3人 11.5→9人 34.6 4 6人 23.5 3 13人 60.0 2 3人 11.5→4人 15.4 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 14人 12.8→44人 40.4 4 3人 27.5 3 4人 45.0 2 2人 15.4→16人 14.7 1 1人 3.8→1人 3.8	5段階 人数 % 人数 % 5 14人 12.8→44人 40.4 4 3人 27.5 3 4人 45.0 2 2人 15.4→16人 14.7 1 1人 3.8→1人 3.8
5段階評価の得点化	$\bar{X}=3.30$ S=0.98	$\bar{X}=3.22$ S=0.83	$\bar{X}=3.19$ S=0.83	$\bar{X}=3.40$ S=0.91	$\bar{X}=3.74$ S=0.86	$\bar{X}=3.27$ S=0.96	$\bar{X}=3.38$ S=0.91	
体力状態	5段階 人数 % 人数 % 5 2人 10.0→6人 30.0 4 4人 20.0 3 8人 40.0 2 5人 25.0→6人 30.0 1 1人 5.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 0人 0.0→2人 22.2 4 2人 22.2 3 3人 33.3 2 2人 22.2→4人 44.4 1 2人 22.2→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 2人 12.5→4人 25.0 4 2人 12.5 3 9人 56.3 2 2人 12.5→3人 18.7 1 1人 6.2→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 0人 0.0→2人 13.3 4 2人 13.3 3 6人 40.0 2 6人 40.0→7人 46.7 1 1人 6.7→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 3人 13.0→7人 30.4 4 4人 17.4 3 14人 60.9 2 2人 8.7→2人 8.7 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 1人 3.8→6人 23.1 4 5人 19.2 3 14人 53.8 2 2人 9.5→6人 23.1 1 1人 3.8→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 8人 7.3→27人 45.0 4 4人 17.4 3 5人 49.5 2 2人 20.2→28人 25.7 1 6人 5.5→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 8人 7.3→27人 45.0 4 4人 17.4 3 5人 49.5 2 2人 20.2→28人 25.7 1 6人 5.5→0人 0.0
5段階評価の得点化	$\bar{X}=3.05$ S=1.05	$\bar{X}=2.56$ S=1.13	$\bar{X}=3.13$ S=1.02	$\bar{X}=2.60$ S=0.83	$\bar{X}=3.35$ S=0.83	$\bar{X}=3.00$ S=0.85	$\bar{X}=3.01$ S=0.95	
食べ物の好き嫌い	5段階 人数 % 人数 % 5 9人 45.0→16人 80.0 4 4人 20.0 3 3人 15.0 2 2人 10.0→4人 20.0 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 1人 11.1→4人 44.5 4 3人 33.3 3 2人 22.2 2 2人 22.2→3人 33.3 1 1人 11.1→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 5人 31.2→12人 75.0 4 7人 43.8 3 0人 0.0 2 3人 18.7→4人 25.0 1 1人 6.3→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 0人 0.0→3人 20.0 4 3人 20.0 3 2人 13.3 2 4人 26.7→10人 66.7 1 6人 40.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 8人 34.8→18人 78.3 4 10人 43.5 3 2人 8.7 2 3人 13.0→3人 13.0 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 2人 7.7→6人 23.1 4 4人 15.4 3 3人 11.5 2 12人 46.2→17人 65.4 1 5人 19.2→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 25人 22.9→59人 54.1 4 34人 31.2 3 9人 8.3 2 28人 25.7→41人 37.6 1 13人 11.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 25人 22.9→59人 54.1 4 34人 31.2 3 9人 8.3 2 28人 25.7→41人 37.6 1 13人 11.0→0人 0.0
5段階評価の得点化	$\bar{X}=4.05$ S=1.15	$\bar{X}=3.11$ S=1.27	$\bar{X}=3.75$ S=1.29	$\bar{X}=2.13$ S=1.19	$\bar{X}=4.00$ S=1.00	$\bar{X}=2.46$ S=1.21	$\bar{X}=3.28$ S=1.38	
運動の好き嫌い	5段階 人数 % 人数 % 5 9人 45.0→15人 75.0 4 6人 30.0 3 3人 15.0 2 2人 10.0→2人 10.0 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 4人 44.5→5人 55.6 4 1人 11.1 3 2人 22.2 2 2人 22.2→2人 22.2 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 6人 37.5→10人 62.5 4 4人 25.0 3 5人 31.3 2 0人 0.0→1人 6.2 1 1人 6.2→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 4人 26.7→7人 46.7 4 3人 20.0 3 4人 26.7 2 2人 20.0→4人 26.7 1 2人 20.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 5人 21.7→16人 69.6 4 11人 47.8 3 4人 17.4 2 3人 13.0→3人 13.0 1 0人 0.0→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 8人 30.8→16人 61.5 4 8人 30.8 3 9人 34.6 2 0人 0.0→1人 3.8 1 1人 3.8→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 36人 33.0→69人 63.3 4 33人 30.3 3 27人 24.8 2 9人 8.3→13人 11.9 1 4人 3.7→0人 0.0	5段階 人数 % 人数 % 5 36人 33.0→69人 63.3 4 33人 30.3 3 27人 24.8 2 9人 8.3→13人 11.9 1 4人 3.7→0人 0.0
5段階評価の得点化	$\bar{X}=4.11$ S=1.02	$\bar{X}=3.78$ S=1.30	$\bar{X}=3.88$ S=1.45	$\bar{X}=3.33$ S=1.39	$\bar{X}=3.78$ S=0.95	$\bar{X}=3.85$ S=1.00	$\bar{X}=3.81$ S=1.10	

注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として算出した、平均値・標準偏差である。

態」を見ると、1と2の段階に評価する者が若干いることが分かった。各年度をコミにした1と2段階の人数を見ると、16人、14.7%である。3段階以上のものが80%以上を占め、4と5段階が、44人、40.4%である。3段階以上をコミにしてみると、93名、85%である。次に、1から5段階を、そのまま1点から5点と見なして、平均値を算出してみると、3.19～3.70点というところである。各年度の平均値をコミにした合計で見ても、 3.38 ± 0.91 点である。4点には届かないが、おおむね良好ということがいえよう。

表6の女子の「健康状態」を見ると、健康に自信のない1と2の段階では、ばらつきがあるものの、各年度をコミにしてものを見ると、18名、10.8%である。3段階85名、51.2%と4と5段階をコミにしてみると、148名、89%である。次に、5段階評価の平均値をみると、 3.33 ± 0.79 点である。女子も男子と同様に、おおむね良好といえる。

(3) 表5の男子の「体力状態」について見ると、1と2段階に評価する者が、健康状態で見た場合よりも多くなる傾向が見られる。各年度をコミにした場合で見ると、26%が1と2段階に評価している。4と5段階をコミにした場合では、24.8%である。3の段階に50%が評価をしているのが目につく。これを各年コミにした平均値で見ると、 3.01 ± 0.95 点である。健康状態で見た場合よりも、平均値が低く抑えられている。健康状態という場合よりも、自分の体力状態を自己評価する場合には、どうしても体力に対する自己評価が辛くなる傾向は否めないところである。それが正直なところであろう。

表6の女子の「体力状態」を見ると、体力に厳しい評価をしている1と2の段階のものが、各年度共に1割以上回答をしていることが分かった。4と5の自信があると回答するものが、年度によっては0名とい所も見られる。各年度をコミにした1と2段階で見ると、75名、

45.2%と半数近い数値を示している。4と5の段階を見ると、14名、8.4%に過ぎない。女子は男子以上に「体力状態」に対する自己評価を厳しい目で見ていることが分かった。これを、平均値で眺めると、各年度の全てが2点台後半を示していることでも頷ける。各年度をコミにしたものでは、 2.57 ± 0.76 点を示している。平均値からも読み取れることであるが、体力ということに関して女子は大変評価が低い。女子は、男子以上に体力に関しての自分自身への見方がシビアであるといえる。それだけ体力の無いことを自認していることを物語っていると、解釈でき一つの資料として今後に生かす必要がある。

(4) 表5の男子の「食べ物の好き嫌い」についてみると、年度により評価にばらつきが見られる。各年度をコミにした人数で見ると、1と2の合計が、41人、37.6%であり、4と5の合計が59人54.1%である。3の段階が極端に少ないことが示されている。これを平均値で見ると、 3.28 ± 1.38 点である。平均値は3点を超えているが、標準偏差が1.38点もあり、評価にばらつきが見られることが分かる。1999年などは、参加者が15名であるが、平均値が2.13点、2002年度も参加者26名であり、平均値が2.46点とそれぞれ低い。

表6の女子の「食べ物の好き嫌い」についてみると、好き嫌いを示す1と2の段階が30%～80%と、年度によりばらつきが見られるが多い。これを各年度コミにしたもので眺めると、1と2段階が、85名、51.2%である。4と5段階の好き嫌いなしでは、57名、34.3%である。

3段階の24名、14.5%と4と5段階をコミ(81名、48.8%)にしても、1と2段階の方が上回る。これを平均値で見ると、 2.75 ± 1.27 点である。平均値でも2点台後半である。女子は、男子以上に好き嫌いがあるということを数値が示している。

(8) 表5の男子の「スポーツ・運動の好き嫌い」についてみると、好きの方に評価する者が

表6 シーズンスポーツ①参加者の事前調査における健康意識(女子)

	1996 (平成8年) n=21	1997 (平成9年) n=36	1998 (平成10年) n=29	1999 (平成11年) n=31	2000 (平成12年) n=26	2002 (平成14年) n=23	各年度を コミにした場合 n=166	
身長	157.0±6.3cm	158.7±5.91cm	158.2±6.25cm	158.2±3.71cm	159.5±5.43cm	158.6±4.46cm	158.4±5.52cm	
体重	49.6±6.0kg	55.8±9.30kg	49.0±6.14kg	52.2±5.28kg	50.3±5.48kg	49.8±5.62kg	51.4±7.00kg	
相関係数	r=0.479	r=0.733	r=0.592	r=0.071	r=0.399	r=0.456	r=0.470	
健康状態	段階 人数 % 5 0 0.0 11 52.4 4 11 52.4 27.8 41.7 3 8 38.1 50.0 38.3 2 2 9.5 2 8.3 3 1 0 0.0 1 0.0 0.0 n=20 100.0	段階 人数 % 5 5 13.9 15 41.7 4 4 10 27.8 21.4 3 18 50.0 62.1 41.9 2 3 8.3 3 8.3 4 13.8 1 0 0.0 1 0.0 0.0 n=36 100.0	段階 人数 % 5 1 3.4 7 21.4 4 6 20.7 14 45.2 3 13 41.9 30.6 38.3 2 4 13.8 4 12.9 1 0 0.0 1 3.8 n=31 100.0	段階 人数 % 5 1 3.2 14 45.2 4 13 41.9 30.6 38.3 3 13 41.9 30.6 38.3 2 4 12.9 4 12.9 1 0 0.0 1 3.8 n=31 100.0	段階 人数 % 5 0 0.0 4 15.4 4 4 15.4 15.4 48.4 3 11 42.3 42.3 42.3 2 11 42.3 11 42.3 1 0 0.0 1 3.8 n=26 100.0	段階 人数 % 5 3 13.0 7 30.4 4 4 17.0 17.0 30.4 3 12 52.2 52.2 52.2 2 3 13.0 4 17.4 1 1 4.3 1 4.3 n=23 100.0	段階 人数 % 5 11 6.6 14 8.4 4 52 31.4 31.4 31.4 3 85 51.2 51.2 51.2 2 16 9.6 18 10.8 1 2 1.2 2 1.2 n=166 100.0	段階 人数 % 5 3 3.3 33 33.3 4 5 3.0 9.9 9.9 3 7 7.7 21.2 21.2 2 6 6.6 17.5 17.5 1 1 1.0 2.7 2.7 n=166 100.0
5段階評価の得点化	$\bar{X}=3.43$ S=0.68	$\bar{X}=3.47$ S=0.84	$\bar{X}=3.14$ S=0.69	$\bar{X}=3.35$ S=0.75	$\bar{X}=3.31$ S=0.74	$\bar{X}=3.22$ S=0.99	$\bar{X}=3.33$ S=0.79	
体位状態	段階 人数 % 5 0 0.0 2 9.5 4 2 9.5 2 9.5 11.1 3 8 38.1 11 52.4 2 3 14.3 11 52.4 1 0 0.0 1 4.8 n=21 100.0	段階 人数 % 5 1 2.8 4 11.1 4 3 8.3 4 11.1 32.2 3 21 58.3 15 44.8 48.4 2 9 25.0 11 30.6 1 2 5.6 1 2.8 n=36 100.0	段階 人数 % 5 0 0.0 0 0.0 4 1 3.2 1 3.2 9.7 3 15 48.4 15 48.4 2 13 41.9 15 48.4 1 2 6.5 1 3.2 n=31 100.0	段階 人数 % 5 0 0.0 4 12.9 4 4 12.9 15 48.4 3 11 42.3 11 42.3 2 11 42.3 11 42.3 1 0 0.0 1 3.2 n=26 100.0	段階 人数 % 5 0 0.0 3 11.5 4 3 13.0 13.0 48.8 3 7 30.4 30.4 48.8 2 11 42.3 13 50.0 1 2 8.7 1 3.8 n=23 100.0	段階 人数 % 5 1 4.1 14 53.8 4 4 15.4 15.4 57.7 3 7 30.4 30.4 57.7 2 6 38.6 7 45.2 1 1 6.6 1 6.6 n=166 100.0	段階 人数 % 5 1 4.1 14 53.8 4 4 15.4 15.4 57.7 3 7 30.4 30.4 57.7 2 6 38.6 7 45.2 1 1 6.6 1 6.6 n=166 100.0	段階 人数 % 5 1 0.6 14 8.4 4 13 7.8 7.8 14.5 3 77 46.4 46.4 46.4 2 64 38.6 75 45.2 1 1 0.6 1 0.6 n=166 100.0
5段階評価の得点化	$\bar{X}=2.43$ S=0.87	$\bar{X}=2.78$ S=0.80	$\bar{X}=2.45$ S=0.63	$\bar{X}=2.48$ S=0.68	$\bar{X}=2.73$ S=0.74	$\bar{X}=2.48$ S=0.85	$\bar{X}=2.57$ S=0.76	
食べ物の好き嫌い	段階 人数 % 5 5 23.8 12 57.1 4 7 33.3 12 57.1 33.3 3 2 9.5 3 8.3 8.3 2 3 14.3 7 33.3 58.4 1 4 19.4 7 33.3 58.4 n=21 100.0	段階 人数 % 5 4 11.1 12 33.3 4 8 22.2 12 33.3 33.3 3 3 8.3 3 8.3 22.2 2 15 41.7 21 58.4 1 6 16.7 7 19.4 n=36 100.0	段階 人数 % 5 2 6.9 11 37.9 4 9 31.1 11 37.9 31.1 3 10 34.5 10 34.5 31.1 2 3 10.3 8 27.6 1 5 17.2 8 27.6 n=29 100.0	段階 人数 % 5 3 9.6 9 29.1 4 6 19.4 9 29.1 29.1 3 3 9.6 9 29.1 29.1 2 15 48.4 19 61.3 1 4 19.4 4 19.4 n=31 100.0	段階 人数 % 5 0 0.0 2 7.7 4 2 7.7 7.7 23.1 3 3 11.5 11.5 35.4 2 15 57.5 21 80.8 1 6 13.1 6 13.1 n=26 100.0	段階 人数 % 5 2 8.7 11 47.8 4 9 39.1 41 24.7 3 3 13.0 3 13.0 24.7 2 5 21.7 9 39.2 1 4 17.4 4 17.4 n=23 100.0	段階 人数 % 5 16 9.6 57 34.3 4 41 24.7 41 24.7 34.3 3 24 14.5 24 14.5 34.3 2 56 33.7 85 51.2 1 29 17.5 29 17.5 n=166 100.0	段階 人数 % 5 16 9.6 57 34.3 4 41 24.7 41 24.7 34.3 3 24 14.5 24 14.5 34.3 2 56 33.7 85 51.2 1 29 17.5 29 17.5 n=166 100.0
5段階評価の得点化	$\bar{X}=3.29$ S=1.49	$\bar{X}=2.69$ S=1.31	$\bar{X}=3.00$ S=1.20	$\bar{X}=2.65$ S=1.23	$\bar{X}=2.04$ S=0.82	$\bar{X}=3.00$ S=1.31	$\bar{X}=2.75$ S=1.27	
運動の好き嫌い	段階 人数 % 5 2 9.5 4 19.0 4 2 9.5 4 19.0 61.2 3 7 33.3 7 19.4 38.0 2 8 38.2 10 47.7 19.4 1 2 9.5 2 9.5 13.8 n=21 100.0	段階 人数 % 5 11 30.6 22 61.2 4 11 30.6 11 30.6 30.6 3 7 19.4 7 19.4 30.6 2 5 13.8 7 19.4 1 2 5.6 2 5.6 n=36 100.0	段階 人数 % 5 2 6.9 11 38.0 4 9 31.0 11 38.0 38.0 3 11 38.0 11 38.0 38.0 2 3 10.3 7 24.0 1 4 13.8 4 13.8 n=29 100.0	段階 人数 % 5 4 12.9 14 45.2 4 10 32.2 14 45.2 45.2 3 10 32.2 10 32.2 45.2 2 6 19.4 7 22.6 1 1 3.2 1 3.2 n=31 100.0	段階 人数 % 5 7 26.9 10 38.5 4 3 11.3 11.3 38.5 3 7 26.9 7 26.9 38.5 2 6 23.1 9 34.6 1 3 11.5 3 11.5 n=26 100.0	段階 人数 % 5 4 17.4 14 60.9 4 10 43.5 4 43.5 60.9 3 4 17.4 4 17.4 60.9 2 4 17.4 5 21.7 1 1 4.3 1 4.3 n=23 100.0	段階 人数 % 5 30 18.1 75 45.2 4 45 27.1 45 27.1 45.2 3 46 27.7 46 27.7 45.2 2 32 19.3 45 27.1 1 13 7.8 13 7.8 n=166 100.0	段階 人数 % 5 30 18.1 75 45.2 4 45 27.1 45 27.1 45.2 3 46 27.7 46 27.7 45.2 2 32 19.3 45 27.1 1 13 7.8 13 7.8 n=166 100.0
5段階評価の得点化	$\bar{X}=2.71$ S=1.10	$\bar{X}=3.67$ S=1.22	$\bar{X}=3.07$ S=1.13	$\bar{X}=3.32$ S=1.05	$\bar{X}=3.19$ S=1.39	$\bar{X}=3.52$ S=1.12	$\bar{X}=3.16$ S=1.31	

注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

多いことが分かる。4と5の段階をコミにした場合、69名、63.3%である。3段階以上をコミにしてみると、96名、88.1%になる。運動嫌いを示す1と2の段階は、13人、11.9%とである。平均値で見ても、 3.81 ± 1.10 点と、男子はスポーツ・運動好きの者が多く参加していることが示されている。

表6の女子の「スポーツ・運動の好き嫌い」について眺めると、1と2段階の嫌いの方に回答するものが、年度により回答にばらつきがあるが、各年度をコミにしてみると、45名、27.1%である。3段階では、46名、27.7%、4と5の段階では、75名、45.2%である。3段階の46名、27.7%と4と5の段階をコミにしてみると、121名、72.9%である。各年度の平均値で見ると、 3.16 ± 1.31 点である。男子ほど「スポーツ・運動好き」ではないことが回答結果からわかった。

(5) 表7の男子の「疲労」についてみると、1と2の段階に評価する者が多く見られ、各年度をコミにした場合で見ると、1と2の段階が38名、34.9%、4と5の段階が28名、25.7%である。3段階の43名と4と5段階をコミにしてみると、71名、65.1%である。平均値で見ても、 2.95 ± 0.98 点となっている。体力状態で見ても平均値が低く、調査項目では一番低い点数を示している。これは、運動不足等や、寝不足などから疲労感が日ごろから溜まっていたり、疲労回復が図られていないことを物語るといえよう。ここだけでは十分な分析は出来ないが、一つの問題点にあげられよう。

表8の女子の「疲労」についてみると、1と2の段階が、各年度ともに、44%~61%も回答していることが示されている。これを各年度コミにしたものを見ると、1と2段階が、86名、51.8%である。4と5段階では、12名、7.2%の者しか、疲労に自信がある方に回答しているのみである。3段階の68名、41.0%と4と5の12名をコミにしても、80名、48.2%である。疲労については、男子で見た以上に、問題点を含

んでいるといえる。これを、各年度の平均値で見ると、平成11年('99)の2.23を最低点にして、平成12年('00)の2.50点が最高点を示している。各年度をコミにすれば、 2.43 ± 0.83 点である。女子が疲労に関しては、問題を抱えて回答をしていることがいえる。これらは、普段の生活習慣の中で、食事、運動、睡眠などの改善を図りながら解決していくことが強く望まれる。

(6) 表7の男子の「睡眠について」みると、1と2の段階に評価する者が比較的少ないことが示された。各年度の合計で見ると、1と2の段階が13人、11.9%である。4と5段階では、73人、67%を示している。平均値で見ると、 3.90 ± 1.15 点である。4点に近い点数を示していることから、睡眠については、寝る場所が変わると眠れないとか、枕が変わると眠れないという人がいる中で、比較的どこでも眠れるということを物語っているといえよう。

表8の女子の「睡眠について」では、1と2の睡眠に問題がある方の回答が、ばらつきがあるものの、各年度をコミにして見ると、46名、27.7%である。3段階が、38名、22.9%である。4と5の段階では、82名、49.4%である。約半数の者が、睡眠は大丈夫という方に回答をしている。これを平均値で眺めると、 3.42 ± 1.23 点である。ばらつきはあるものの、男子に比して女子の方が、睡眠に対する注文があるように思える。

(7) 表7の男子の「便秘について」みると、年度により若干のばらつきは見られるが、各年度をコミにした合計で見ると、1と2の段階が18人、16.5%、4と5の段階が49人、45.0%である。3段階以上をコミにすると、91人、83.5%にもなる。男子は便秘に関しては快調であるということが出来よう。平均値も、 3.41 ± 1.08 点である。

表8の女子の「便秘について」みると、便秘がちであることを示す1と2の回答では、各年度において、35%~50%を示している。これ

表7 シーズンスポーツ参加者の事前調査から見た健康意識 (男子)

	1996 (平成8年) n=20		1997 (平成9年) n=9		1998 (平成10年) n=16		1999 (平成11年) n=15		2000 (平成12年) n=23		2002 (平成14年) n=26		各年の合計 n=109		
	段階	人数	%	段階	人数	%	段階	人数	%	段階	人数	%	段階	人数	%
疲労 について	5	3	15.0	6	30.0	5	1	6.2	3	18.7	5	0	0.0	2	22.2
	4	3	15.0	2	22.2	4	2	12.5	4	1	6.7	4	7	30.4	
	3	7	35.0	3	11.1	3	11	68.8	3	8	53.3	3	9	34.6	
	2	7	35.0	2	66.7	2	2	12.5	2	5	33.3	2	9	34.6	
	1	0	0.0	1	0.0	1	0	0.0	1	1	6.7	1	2	7.7	
5段階 評価の 得点化		20	100.0	9	100.0	16	100.0	15	100.0	23	100.0	26	100.0	109	100.0
		\bar{X} =3.10 S=1.07		\bar{X} =2.56 S=0.88		\bar{X} =3.13 S=0.72		\bar{X} =2.60 S=0.91		\bar{X} =2.81 S=1.06		\bar{X} =2.81 S=1.06		\bar{X} =2.95 S=0.98	
睡眠 について	5	8	40.0	14	70.0	5	4	25.0	9	56.3	5	13	56.5	19	82.6
	4	6	30.0	1	11.1	4	5	31.3	4	6	40.0	4	6	26.1	
	3	5	25.0	3	33.3	3	5	31.3	3	2	13.3	3	6	23.1	
	2	1	5.0	2	22.3	2	2	12.4	2	0	0.0	2	1	4.3	
	1	0	0.0	1	33.3	1	0	0.0	1	0	0.0	1	1	4.3	
5段階 評価の 得点化		20	100.0	9	100.0	16	100.0	15	100.0	23	100.0	26	100.0	109	100.0
		\bar{X} =4.05 S=0.94		\bar{X} =2.22 S=1.09		\bar{X} =3.69 S=0.72		\bar{X} =4.33 S=0.72		\bar{X} =4.26 S=1.10		\bar{X} =3.92 S=1.16		\bar{X} =3.90 S=1.15	
便秘 について	5	7	35.0	10	50.0	5	1	6.2	10	62.5	5	6	26.1	12	52.2
	4	3	15.0	2	22.2	4	9	56.2	4	2	13.3	4	7	26.9	
	3	8	40.0	3	44.4	3	5	31.1	3	5	33.3	3	10	38.5	
	2	2	10.0	2	11.1	2	1	6.2	2	5	33.3	2	2	7.7	
	1	0	0.0	1	22.2	1	0	0.0	1	3	20.0	1	1	3.8	
5段階 評価の 得点化		20	100.0	9	100.0	16	100.0	15	100.0	23	100.0	26	100.0	109	100.0
		\bar{X} =3.75 S=1.07		\bar{X} =2.67 S=1.12		\bar{X} =3.65 S=0.72		\bar{X} =2.40 S=0.99		\bar{X} =3.74 S=0.92		\bar{X} =3.58 S=1.06		\bar{X} =3.41 S=1.08	

(注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として算出した、平均値・標準偏差である。

表8 シーズンスポーツ①事前ガイダンス時の健康意識調査 (女子)

	1996 (平成8年) n=21		1997 (平成9年) n=36		1998 (平成10年) n=29		1999 (平成11年) n=31		2000 (平成12年) n=26		2002 (平成14年) n=23		各年度をコミにした場合			
	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%
疲労について	5 0 4 3 2 1 n=21	0.0 4.8 11.1 38.1 47.6 9.5 100.0	1 4 3 2 1 n=36	2.8 11.1 8.3 5.6 2.8 2.8 100.0	5 0 3 2 1 n=29	0.0 0.0 16.5 37.9 6.9 100.0	0 1 11 13 6 n=31	0.0 3.2 35.5 41.9 19.4 100.0	5 4 3 2 1 n=26	0.0 15.4 38.5 26.9 19.2 100.0	5 4 3 2 1 n=23	0.0 1.7 11.3 34.8 13.0 100.0	5 4 3 2 1 n=166	0.5 1.1 6.6 41.0 38.6 13.3 100.0	12 12 86 86 100.0	7.2 7.2 51.8 51.8 100.0
5段階 評価の 得点化	$\bar{X}=2.38$ S=0.74		$\bar{X}=2.53$ S=0.94		$\bar{X}=2.48$ S=0.63		$\bar{X}=2.23$ S=1.05		$\bar{X}=2.50$ S=0.99		$\bar{X}=2.43$ S=0.79		$\bar{X}=2.43$ S=0.83			
睡眠について	5 4 3 2 1 n=21	8 4 6 3 0 100.0	1 4 12 15 4 n=36	2.8 11.1 33.3 41.7 11.1 100.0	5 4 3 2 1 n=29	11 0 10.3 37.9 13.8 100.0	5 4 3 2 1 n=31	10 14 19.4 32.1 0.0 100.0	5 4 3 2 1 n=26	5 11 5 5 0 100.0	7 4 3 2 1 n=23	30.4 30.4 26.1 13.0 0.0 100.0	5 4 3 2 1 n=166	42 40 38 38 8 100.0	25.3 24.1 22.9 22.9 4.8 100.0	49.4 49.4 27.7 27.7 100.0
5段階 評価の 得点化	$\bar{X}=2.52$ S=1.08		$\bar{X}=3.94$ S=1.04		$\bar{X}=3.10$ S=1.59		$\bar{X}=4.06$ S=0.81		$\bar{X}=3.62$ S=1.02		$\bar{X}=3.78$ S=1.04		$\bar{X}=3.42$ S=1.23			
便秘について	5 4 3 2 1 n=21	2 0 8 8 3 100.0	3 6 9 18 0 n=36	8.3 16.7 25.0 50.0 0.0 100.0	5 4 3 2 1 n=29	4 5 10 8 2 100.0	5 4 3 2 1 n=31	2 6 12 29.0 6.5 100.0	5 4 3 2 1 n=26	1 4 11 9 1 100.0	3 6 6 5 1 n=23	13.0 26.1 21.7 13.0 4.3 100.0	5 4 3 2 1 n=166	15 27 56 57 11 100.0	9.1 16.3 33.7 34.3 6.6 100.0	25.3 25.3 41.0 41.0 100.0
5段階 評価の 得点化	$\bar{X}=2.52$ S=1.08		$\bar{X}=2.83$ S=1.00		$\bar{X}=3.03$ S=1.15		$\bar{X}=2.90$ S=1.01		$\bar{X}=2.81$ S=0.90		$\bar{X}=3.04$ S=1.26		$\bar{X}=2.87$ S=1.06			

(注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

を各年度コミにして眺めると、1と2段階が、68名、41%である。便秘は大丈夫という方に回答した4と5では、42名、25.3%を示している。男子とは違い、女子には便秘に悩む者が多いといえよう。これを平均値で見ると、各年度において2点台がほとんどであり、各年度をコミにした場合、 2.87 ± 1.06 点となる。平均値からみても、3点を下回り、便秘に悩み、問題を抱えていることを物語っているといえよう。

(9) シーズンスポーツ①男女コミの参加理由(複数回答)

男女のシーズンスポーツ①への参加理由を示したものが、表9である。10項目の参加理由をあらかじめ作り、主な理由に該当する項目に3つ○印をつけて下さいとしたものである。必ずしも3つに○印をしたものばかりではなく、中には4～5つも○印をした者も若干いたが集計を行った。因みに、男女コミの数字で見た場合では、 $n = 260$ であり、回答数が767である。 $767/260 = 2.95$ となり、1人が2.95の回答をしていることになる。

まず、男子の「参加理由」における人数分布で多い順にあげてみると、1位が「面白そうだから」の67名、70.5%、2位が「自然に触れたいから」の48名、50.5%、3位が「教職の単位に必要なだから」の43名、45.3%、4位が「登山・ハイキングが好きだから」の39名、41.1%、5位が「短期間の授業だから」の36.8%である。以下は、「友達を作りたい」、「夏休みだから」、「自然環境のいい所だから」、「集団生活をしたいたから」、「友達と一緒にだから」となっている。

女子の「参加理由」を見ると、1位が「面白そうだから」の101名、60.8%、2位が「教職の単位に必要なだから」の100名、60.2%、3位が「自然に触れたいから」の68名、41.0%、4位が「短期間の授業だから」の43名、25.9%、5位が「登山・ハイキングが好きだから」の42名、25.3%である。以下は、「友達を作りたい」、「友達と一緒にだから」、「自然環境のいい所だか

ら」、「夏休みだから」、「集団生活をしたいたから」と続いている。

これを、表9の最右端の男女をコミにした順位で見ると、1位が「面白そうだから」の168名、64.5%、2位が「教職の単位だから」の143名、55.0%、3位が「自然に触れたいから」の116名、44.6%、4位が「登山・ハイキングが好きだから」の81名、31.2%、5位が「短期間の授業だから」の78名、30.0%である。男女の順位に若干の違いが見られたが、全体を通して、「面白そうだから」、「教職の単位に必要なだから」、「自然に触れたいから」、「登山・ハイキングが好きだから」、「短期の授業だから」などがベスト5であり、参加理由が集約されていると考える。

3. 事後ガイダンス時に行ったアンケートによる5段階評価

事後ガイダンスは、シーズンスポーツ①実施後間を置いて、9月の「秋セメスター」が開始された第1週目、2週目の2回に渡って行った。アンケートの回収率は表2にも示したが、各年をコミにしても85%である。これは、学生が受講曜日や、千代田キャンパスなどの関係で、一堂に会して調査することが出来なかったという点も影響している。

事後ガイダンス時の5段階評価は、各年度においては男女の参加比率はちがいがみられるが、男女をコミにして集計を行った。したがって、これから見ていく項目は全部男女コミでの人数分布であり、平均値は、1段階～5段階をそのまま1点～5点とみなして平均値・標準偏差を算出したものである。

(1) 時期について (表10)

男女をコミにした調査を眺めてみると、各年度を通じて高い指示を得ている。4と5の段階では、67%～85%間での回答に幅が見られるが、各年度をコミにした場合、4と5で段階は、182名、75.85%の回答を得ている。1と2の段階

表9 シーズンスポーツ①の参加理由 (複数回答)

参加理由 (主な理由3つに○印をつけて下さい)	1996 (平成8年) n=20 (男子) n=21 (女子)		1997 (平成9年) n=9 (男子) n=36 (女子)		1998 (平成10年) n=16 (男子) n=29 (女子)		1999 (平成11年) n=15 (男子) n=31 (女子)		2000 (平成12年) n=23 (男子) n=26 (女子)		2002 (平成13年) n=26 (男子) n=23 (女子)		各年度をコミニ した場合の人数 n=94 (男子) n=166 (女子)		各年度の男女 (n=260) をコミニ した場合の参加理 由の比率		男子の 順位	女子の 順位	全体の 順位	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%				
1. 登山・ハイキングが 好きだから	男子	8	40.0	4	44.4	4	25.0	4	26.7	11	47.8	8	30.8	39	41.1	81	31.2	4	4	4
	女子	5	23.8	13	36.1	5	17.2	12	38.7	3	11.5	4	17.4	25	25.3	25	25.3	4		
2. 自然に触れたいから	男子	14	70.0	6	66.7	10	62.5	5	33.3	6	26.1	7	26.9	48	50.5	116	44.6	2	3	3
	女子	10	47.6	16	44.4	11	37.9	7	22.5	14	53.8	10	43.5	68	41.0	68	41.0	3		
3. 自然環境のいい所だ から	男子	1	5.0	1	11.1	2	12.5	1	6.7	3	13.0	2	7.7	10	10.5	35	13.5	8	8	7
	女子	5	23.8	7	19.4	3	10.3	7	22.5	1	3.8	2	8.7	25	15.1	25	15.1	8		
4. 教職の単位に必要だ から	男子	4	20.0	5	55.6	4	25.0	8	53.3	13	56.5	9	34.6	43	45.3	143	55.0	3	2	2
	女子	15	47.6	24	66.7	19	65.5	16	51.6	14	53.8	12	52.2	100	60.2	100	60.2	3		
5. 集団生活をしたいから	男子	2	10.0	1	11.1	0	0.0	2	13.3	3	13.0	1	3.8	9	9.5	24	9.2	9	10	10
	女子	1	4.8	2	5.6	3	10.3	0	0.0	8	30.8	1	4.3	15	9.0	15	9.0	9		
6. 短期間の授業だから	男子	4	20.0	2	22.2	9	56.3	7	46.7	7	30.4	6	23.1	35	36.8	78	30.0	5	5	5
	女子	3	14.3	7	19.4	9	31.0	12	38.7	5	19.2	7	30.4	43	25.9	43	25.9	5		
7. 面白そうだから	男子	16	80.0	6	66.7	11	68.8	12	80.0	9	39.1	13	50.0	67	70.5	168	64.5	1	1	1
	女子	15	47.6	23	63.9	19	65.5	19	61.3	14	53.8	11	47.8	101	60.8	101	60.8	1		
8. 友達と一緒にだから	男子	3	15.0	0	0.0	3	18.8	0	0.0	1	4.3	1	3.8	8	8.4	37	14.2	10	7	8
	女子	2	9.5	7	19.4	4	14.8	6	19.4	5	19.2	5	21.7	29	17.5	29	17.5	10		
9. 友達を作りたいたいから	男子	5	25.0	2	22.2	1	6.3	5	33.3	6	26.1	3	11.5	22	23.2	55	21.2	6	6	6
	女子	6	28.6	3	8.3	9	31.0	6	19.4	4	15.4	5	21.7	33	19.9	33	19.9	6		
10. 夏休みだから	男子	2	10.0	0	0.0	4	25.0	1	6.7	2	8.7	3	11.5	12	12.6	30	11.5	7	9	9
	女子	1	4.8	2	5.6	4	13.8	6	19.4	3	11.5	2	8.7	18	10.8	18	10.8	7		
男子	59		27		48		45		61		53		292		292					
女子	63		104		86		91		71		59		474		474					
合計	122		131		134		136		132		112		776		776					
																				766

表 10 シーズンスポーツ①事後ガイダンス時のアンケート調査(男女コミ)

	1996 (平成8年) n=41		1997 (平成9年) n=34		1998 (平成10年) n=42		1999 (平成11年) n=42		2000 (平成12年) n=35		2002 (平成14年) n=46		各年度を コミにした場合 n=240	
	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %
1 時期 に つ いて 5段階 評価の 得点化	5	26 63.4	5	18 52.9	5	19 45.2	5	21 50.0	5	19 54.3	5	20 43.6	5	123 51.3
	4	9 22.0	4	6 17.6	4	10 23.8	4	15 35.7	4	8 22.9	4	11 23.9	4	59 24.6
	3	4 9.8	3	9 26.5	3	12 28.6	3	4 9.5	3	7 20.0	3	11 23.9	3	47 19.6
	2	1 2.4	2	0 0.0	2	2 4.8	2	2 4.8	2	2 5.6	2	3 6.5	2	8 3.3
	1	1 2.4	1	1 2.9	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	1 2.1	1	3 1.2
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0
	$\bar{X}=4.41$ S=0.95		$\bar{X}=4.18$ S=1.03	$\bar{X}=4.12$ S=0.92	$\bar{X}=4.31$ S=0.84	$\bar{X}=4.29$ S=0.89	$\bar{X}=4.00$ S=1.07	$\bar{X}=3.73$ S=1.53						
2 参加 人 数 5段階 評価の 得点化	5	25 61.0	5	13 38.2	5	15 35.7	5	29 69.1	5	18 51.4	5	23 50.0	5	123 51.3
	4	9 22.0	4	8 23.5	4	12 28.6	4	10 23.8	4	11 31.4	4	12 26.1	4	62 25.8
	3	5 12.2	3	11 32.4	3	13 30.9	3	3 7.1	3	5 14.3	3	11 23.9	3	48 20.0
	2	2 4.8	2	2 5.8	2	2 4.8	2	0 0.0	2	1 2.9	2	0 0.0	2	7 2.9
	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	1 0.4
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0		
	$\bar{X}=4.39$ S=0.89		$\bar{X}=3.94$ S=0.98	$\bar{X}=3.95$ S=0.94	$\bar{X}=4.62$ S=0.62	$\bar{X}=4.31$ S=0.83	$\bar{X}=4.26$ S=0.83	$\bar{X}=4.25$ S=0.88						
3 施設 につ いて 5段階 評価の 得点化	5	12 29.3	5	3 8.8	5	3 7.1	5	5 11.9	5	5 14.3	5	4 8.7	5	32 13.3
	4	9 21.9	4	6 17.6	4	9 21.4	4	10 23.8	4	11 31.4	4	10 21.7	4	55 22.9
	3	12 29.3	3	16 47.1	3	19 45.2	3	16 38.1	3	11 31.4	3	13 28.7	3	87 36.3
	2	3 7.3	2	9 26.5	2	9 21.4	2	8 19.1	2	7 20.0	2	8 17.4	2	44 18.3
	1	5 12.2	1	0 0.0	1	2 4.8	1	3 7.1	1	1 2.9	1	11 23.9	1	22 9.2
	n=41	100.0	n=41	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0		
	$\bar{X}=3.48$ S=1.33		$\bar{X}=3.09$ S=0.90	$\bar{X}=3.05$ S=0.96	$\bar{X}=3.14$ S=1.09	$\bar{X}=3.34$ S=1.06	$\bar{X}=2.74$ S=1.29	$\bar{X}=3.13$ S=1.14						
4-1 適 切 であ った かは 5段階 評価の 得点化	5	16 39.0	5	14.7	5	6 14.3	5	7 16.7	5	10 28.6	5	13 28.3	5	57 23.8
	4	12 29.3	4	12 35.3	4	11 26.2	4	14 33.3	4	4 11.4	4	9 19.6	4	70 29.2
	3	9 22.0	3	15 44.1	3	16 38.1	3	12 28.6	3	13 37.1	3	20 43.5	3	85 35.4
	2	4 9.7	2	2 5.9	2	8 19.1	2	5 11.9	2	2 5.6	2	4 8.7	2	23 9.6
	1	0 0.0	1	0 0.0	1	1 2.4	1	4 9.5	1	0 0.0	1	0 0.0	1	5 2.0
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0		
	$\bar{X}=3.98$ S=1.10		$\bar{X}=3.59$ S=0.82	$\bar{X}=3.31$ S=1.02	$\bar{X}=3.36$ S=1.19	$\bar{X}=3.91$ S=0.82	$\bar{X}=3.67$ S=0.99	$\bar{X}=3.63$ S=1.04						

注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

では、11名、4.6%を示し、圧倒的な指示回答を得ている。平均値を見ても、 3.73 ± 1.53 点と高い得点を示している

(2) 参加人数について (表10)

4と5段階の参加人数が、妥当か否かの項目であるが、4と5段階では、62%~85%が妥当であると回答をしている。各年度をコミにしてみると、185名、77.1%がよしとしている。1と2の段階では、7名、2.9%が違う意見を示しているに過ぎない。平均値においても、 4.25 ± 0.88 点と高い点数を示している。したがって、参加人数については、各年度により、また男女のバランスに違いが見られるが、おおむね支持されているといえよう。

(3) 施設について (表10)

第1, 2, 3回目は、蓼科高原の学校法人二松学園「洗心寮」での開催であったが、洗心寮が諸般の事情で閉鎖されることになり、第4回目から第7回目まで、女神湖畔の国民宿舎「蓼泉閣」を宿舎にして開催された。

ある程度の満足を示す4と5の段階では、洗心寮を宿舎にして行われたとき(平成8年, 9年, 10年)と、国民宿舎で行われたとき(平成11年, 12年, 14年)を比較しても、大きな違いが見られない。各年をコミにしてみると、87名、36.3%がまあよし、という回答を示しているといえよう。1と2段階の不満を示す回答では、66名、27.1%である。3段階の87名と4と5の段階をコミにしてみると、174名、72.7%である。郊外で行う授業であるから、至れり尽くせり型のリゾートホテルなどは最初から想定はしていないので、やや不便を感じる程度のところがシーズンスポーツ①としては最適と思ひ、機会あるごとにガイダンスの中で話をしたことではある。不満の理由は、「もう少し近代施設であって欲しい、販売機の設置が必要、もっときれいなところがいい、風呂が小さい、トイレが狭い、食事をもっとよくして欲しいな

ど」である。

(4) プログラムについて

4-1 スケジュールは適切であったか (表10)

登山やハイキングは、夏休みという時期が学生には最適であるところから実施されている訳であるが、学生の回答を見ると、ばらつきは見られるものの、4と5の段階が、40%~68%までの幅が見られる。各年度をコミにしてみると、127名、52.9%、3段階の85名、35.4%をコミにしてみると、212名、88.3%である。1と2の段階は、28名、11.7%である。夏休みの時期が実施時期としては、指示されているといえよう。平均値で見ても、 3.63 ± 1.04 点である。4点にはならないが、高目の平均点を示している。

4-2 朝の体操について (表11)

6時起床、6時30分からの軽い朝の体操は、一日の出発としても大変重要であり、スケジュール通り進めた。4と5段階では、28%から51%と幅が見られるが、各年度をコミにしてみると、85名、35.4%が指示を示し、3段階が93名、38.8%である。3段階、4と5段階をコミにすると、178名、74.2%がおおむね指示をしているといえる。1と2段階では、62名、25.8%が朝の体操には消極的である。しかし、班長を通じて全員起床の伝令を出したことは言うまでも無い。これを平均値で見ると、 3.17 ± 1.12 点である。

4-3 夜の講義について (表11)

夜の講義としては、日本山岳連盟の公認ガイドの専門家に、山の天気、登山の仕方、高山植物や花の話を一時間づつ、都合2回お話をいただいた。話は内容の濃い示唆に富むも貴重なものであった。確かに、疲労から居眠りが出そうな時間帯であったが、学生は真剣に聞いてくれたと思う。そこで、講義について、回答結果を見ると、各年度をコミにした4と5段階では、98名、40.8%、3段階が、99名、41%である。1と2の段階では、43名、17.9%が消極的な回

表11 シーズンスポーツ①事後ガイダンス時のアンケート調査(男女コミ)

	1996 (平成8年) n=41		1997 (平成9年) n=34		1998 (平成10年) n=42		1999 (平成11年) n=42		2000 (平成12年) n=35		2002 (平成14年) n=46		各年度をコミにした場合 n=240			
	段階	人数	%	段階	人数	%	段階	人数	%	段階	人数	%	段階	人数	%	
4-2 朝 の 体 操 は	5	9	21.9	21	32.4	5	5	11.9	13	31.0	5	2	4.8	12	28.6	
	4	12	29.3	4	5	14.7	4	8	19.0	4	10	23.8	4	6	17.1	
	3	13	31.7	3	17	50.0	3	20	47.6	3	16	38.1	3	14	30.4	
	2	5	12.2	2	5	14.7	2	3	7.1	2	7	16.7	2	14	30.4	
	1	2	4.9	1	1	2.9	1	6	14.3	1	0	0.0	1	2	4.3	
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0		
5段階 評価の 得点化	\bar{X} =3.51 S=1.12		\bar{X} =3.29 S=1.03		\bar{X} =3.67 S=1.16		\bar{X} =2.83 S=1.12		\bar{X} =2.23 S=1.06		\bar{X} =3.10 S=1.14		\bar{X} =3.17 S=1.12			
4-3 夜 の 講 義 は	5	8	19.5	20	48.8	5	4	9.5	15	35.7	5	2	4.8	12	28.6	
	4	12	29.3	4	13	38.2	4	11	26.2	4	10	23.8	4	6	17.1	
	3	15	36.6	3	11	32.4	3	20	47.6	3	14	40.0	3	20	43.5	
	2	4	9.7	2	3	8.8	2	4	9.5	2	7	16.7	2	9	19.5	
	1	2	4.9	1	1	2.9	1	3	7.1	1	0	0.0	1	1	2.2	
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0		
5段階 評価の 得点化	\bar{X} =3.68 S=0.96		\bar{X} =3.59 S=0.99		\bar{X} =3.21 S=1.00		\bar{X} =2.98 S=0.99		\bar{X} =3.49 S=0.95		\bar{X} =3.26 S=1.02		\bar{X} =3.32 S=1.02			
4-4 は 菜 の し か た か	5	9	22.0	25	61.0	5	6	14.3	19	45.2	5	10	23.8	25	59.5	
	4	16	39.0	4	11	32.4	4	13	31.0	4	15	35.7	4	12	26.1	
	3	9	22.0	3	9	26.5	3	17	40.5	3	15	35.7	3	14	30.4	
	2	4	9.7	2	2	5.9	2	2	5.9	2	1	2.4	2	6	13.0	
	1	3	7.3	1	0	0.0	1	3	7.1	1	1	2.4	1	1	2.1	
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0		
5段階 評価の 得点化	\bar{X} =3.59 S=1.16		\bar{X} =3.97 S=0.94		\bar{X} =3.38 S=1.06		\bar{X} =3.76 S=0.93		\bar{X} =3.94 S=0.91		\bar{X} =3.65 S=1.10		\bar{X} =3.70 S=1.04			
4-5 た か 山 は 良 か っ	5	20	48.8	28	68.3	5	11	26.2	25	59.5	5	22	52.4	36	85.7	
	4	8	19.5	4	8	23.5	4	14	33.3	4	13	31.0	4	22	47.8	
	3	11	26.8	3	8	23.5	3	13	31.2	3	5	14.3	3	4	8.7	
	2	2	4.9	2	4.9	12	35.3	2	3	7.1	2	2	4.8	2	2	4.3
	1	0	0.0	1	6	17.6	1	1	2.3	1	1	2.4	1	0	0.0	
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0		
5段階 評価の 得点化	\bar{X} =4.15 S=0.99		\bar{X} =3.06 S=1.37		\bar{X} =3.74 S=1.01		\bar{X} =4.24 S=1.08		\bar{X} =4.34 S=0.73		\bar{X} =4.20 S=0.79		\bar{X} =3.98 S=1.08			

注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

答をしている。3と4と5段階をコミにしてみると、197名、82.1%である。これを平均値で見ると、 3.32 ± 1.02 点である。1と2の段階では、43名もの消極的な回答が見られたので、このあたりを是正することしなければならないと考える。

4-4 夜のミーティングは楽しかったか (表11)

夜のミーティング(ガイダンス)は、今日の反省や、明日の伝達事項、また歌などの稽古、班ごととアトラクションの練習等に当てられたものであり、短い時間の中で効率よく対応することが強く求められたものである。最後には果物を食べて終了にし、消灯時間となる次第である。各年度の4と5の段階をコミにして眺めると、143名、59.6%である。1と2の段階が、27名、11.2%であり、3と4と5段階をコミにしてみると、213名、88.8%が回答していることになる。班別でのミーティングであり、いい出し物を披露しようと、時間と共に息が合い、協力の精神等が発揮されていたと思う。これを、各年度コミの平均値で見ると、 3.70 ± 1.04 点である。4点には届かないが、高い点数を示しているといえる。

4-5 蓼科山(2530m)はよかったか(表11)

深田久弥氏に日本百名山(6)として数えられている蓼科山(2530m)は、魅力に富んだ山である。4と5段階では、平成9年('97)の14名、41.2%が最も低く、後は各年度ともに、50%~74%を示している。各年度をコミにして眺めると、173名、72.5%がおおむね満足していると回答をしているといえる。平成9年の第2回目の場合は、台風11号の影響で、途中から風雨が強くなり、7合目まで雨ガッパを着て悪戦苦闘を余儀なくされたが、全員びしょ濡れになり、これ以上の登山は危険と判断されて引き返すことになった。風雨が強くなり、観光用のゴンドラも運行中止になった程である。自然の脅威や偉大さを学生ともども改めて実感したものである。そんな理由で、平成9年度の4

と5の段階が低い数値になっているともいえる。感想文の中でも「蓼科山」登頂が出来なかったことは残念であるという学生も多くいたことから、頷ける数値である。各年度をコミにした場合、4と5段階では、173名、72.5%が指示している。

3段階をコミにしてみると、216名、90.0%が蓼科山登山を楽しんだと回答をしていると解釈したい。平均値で見ても、 4.20 ± 0.79 点を示している。4点を上回る高得点を示していることが、蓼科山登山を指示してくれた回答であるといえる。因みに、1と2段階では、24名、10%が消極的な回答を示していることが分かった。

4-6 霧ヶ峰ハイキングは楽しかったか (表12)

霧ヶ峰(1925m)は、深田久弥氏の「日本百名山」によれば、「山には、登る山と遊ぶ山とがある。前者は、息を切らし汗を流し、ようやくその頂上に辿り着いて快哉を叫ぶという風であり、後者は、歌でも歌いながら気ままに歩く。・・・当然それは豊かな地の起伏と広濶な展望を持った高原状のやまであらねばならない。霧ヶ峰はその代表的なものの一つである」(7)と賞賛されている。

霧ヶ峰ハイキングは、過去7回実施したが全部天候に恵まれて、遊ぶ山の醍醐味を満喫できたことは幸いなことであった。

1と2の段階では、回答するものがない所(0名)もあるなど、各年度をコミにしたもので眺めれば、16名、6.7%である。4と5段階では、174名、72.5%が感動した方に回答を寄せている。3段階の50名、20.8%をコミにしてみると、224名、93.3%回答になる。平均値も、 4.09 ± 1.00 点と高い数値を示している。蓼科山の得点に続き、2番目に高い数値(4.09点)を示している。

4-7 御泉水自然公園・女神湖畔散策は楽しかったか(表12)

シーズンスポーツ①最後の散策であるが、1と2段階は、各年度をコミにしたもので眺めて

表12 シーズンスポーツ①事後ガイダンス時のアンケート調査(男女コミ)

	1996 (平成8年) n=41		1997 (平成9年) n=34		1998 (平成10年) n=42		1999 (平成11年) n=42		2000 (平成12年) n=35		2002 (平成14年) n=46		各年度をコミにした場合 n=240				
	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	
4-6 は 楽 し か つ た か か 5段階 評価の 得点化	27 4 3 2 1 n=41	65.8 17.1 17.1 0.0 0.0 100.0	17 4 6 2 1 n=34	50.0 26.5 17.6 0.0 2.9 100.0	14 10 13 5 0 n=42	33.3 23.8 31.0 11.9 0.0 100.0	19 12 5 4 2 n=42	45.2 28.6 11.9 9.5 4.8 100.0	14 11 10 3 2 n=35	40.0 31.4 28.6 0.0 0.0 100.0	17 4 3 2 1 n=46	37.0 37.0 19.6 6.5 0.0 100.0	108 66 50 12 4 n=240	45.0 27.5 20.8 5.0 1.7 100.0	174 175 22.5 11 1 n=240	72.5 72.9 46 100.0	
	$\bar{X}=4.49$ S=0.78		$\bar{X}=4.15$ S=1.10		$\bar{X}=3.79$ S=1.05		$\bar{X}=4.00$ S=1.19		$\bar{X}=4.11$ S=0.83		$\bar{X}=4.04$ S=0.92		$\bar{X}=4.09$ S=1.00		$\bar{X}=4.04$ S=0.92		
4-7 御 女 神 楽 し か つ た か か 5段階 評価の 得点化	18 4 3 2 1 n=41	43.9 31.7 22.0 2.4 0.0 100.0	16 4 6 2 1 n=34	47.1 29.4 17.6 5.9 0.0 100.0	12 4 14 2 1 n=42	28.6 33.3 35.7 2.4 0.0 100.0	18 4 7 2 1 n=42	42.8 35.7 16.7 4.8 0.0 100.0	14 11 10 3 2 n=35	40.0 31.4 28.6 0.0 0.0 100.0	15 4 9 2 1 n=46	32.6 33.1 19.5 4.7 0.0 100.0	96 79 54 10 1 n=240	40.0 32.9 22.5 4.2 1.7 100.0	175 175 22.5 11 1 n=240	72.9 72.9 46 100.0	
	$\bar{X}=4.17$ S=0.78		$\bar{X}=4.18$ S=0.94		$\bar{X}=3.88$ S=0.86		$\bar{X}=4.20$ S=0.87		$\bar{X}=4.17$ S=0.98		$\bar{X}=3.96$ S=0.94		$\bar{X}=3.95$ S=1.10		$\bar{X}=3.96$ S=0.94		
4-8 1 は 楽 し か つ た か か 5段階 評価の 得点化	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	— — — — —
	$\bar{X}=4.17$ S=0.78		$\bar{X}=4.18$ S=0.94		$\bar{X}=3.88$ S=0.86		$\bar{X}=4.20$ S=0.87		$\bar{X}=4.17$ S=0.98		$\bar{X}=3.96$ S=0.94		$\bar{X}=3.95$ S=1.10		$\bar{X}=3.96$ S=0.94		
4-9 適 切 で あ つ た か か 5段階 評価の 得点化	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	5 4 3 2 1	— — — — —	— — — — —
	$\bar{X}=4.49$ S=0.78		$\bar{X}=4.15$ S=1.10		$\bar{X}=3.79$ S=1.05		$\bar{X}=4.00$ S=1.19		$\bar{X}=4.11$ S=0.83		$\bar{X}=4.04$ S=0.92		$\bar{X}=4.09$ S=1.00		$\bar{X}=4.04$ S=0.92		

注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

も、11名、4.6%である。3段階が54名、22.5%を示し、4と5段階では、175名、72.9%が満足した回答を寄せている。3と4と5段階をコミにすれば、229名、95.4%である。平均値でも、 3.95 ± 1.10 点と高い数値を示している。

4-8 キャンプファイアは楽しかったか (表12)

二松学舎の洗心寮で実施した、平成8年の第1回から第3回までのシーズンスポーツ①は、洗心寮のグラウンド敷地の都合でキャンプファイアは出来なかった。飯盒炊爨なども、固形燃料を用いてご飯を炊き、鉄板焼きを実施した程である。したがって、キャンプファイアは、女神湖畔の「蓼泉閣」を拠点にした第4回からの実施である。蓼泉閣の裏庭の広い一角でのキャンプファイアであった。キャンプファイアは、既に各班がキャンプファイアの井桁を大きなサークルで囲み、静かに待っている。頃合いを見て上級生の司会により始められた。簡素な儀式で演出し、火の神(教員)が、火にまつわる話を2~3分行い、各班の代表が、神から火をトーチに点火してもらい、そのとき、各班の代表は、ある言葉をいうのである。たとえば、1班であれば、1班の代表が火の神から「お前に勇気の火を授けよう」言われながらトーチに火を点火して貰うと、トーチを高く掲げて、「火のように元気に燃えるように過ごします」などと大きい声で言葉を発し、次いで班員全員が、「勇気の火」と高らかに呼称するという具合である。次々と5班までこの様な手順を踏み、次に井桁に点火をする。さらに、「遠い山に日は落ちて」を静かに合唱するなど、次々と練習した歌をうたう。こんな手順で各班の出番もあるのである(後略)。終わりには、上級生による結びの言葉、二松学舎の校歌、学生歌、キャンプの歌等を歌いながら各班が退場するという段取りである。キャンプファイアでは、静かな、また愉快的な雰囲気も大変重要であるところから出来るだけ手順通りに運ぶよう打ち合わせが必

要であった。

ただし、平成12年は、俄かに雷鳴が轟き、凄惨な夕立となり、中止を余儀なくされた。だが、大広間での各班別のアトラクションで、それぞれの班が、練りに練ったゲームを披露してくれて、それを全員が大いに楽しんだ。キャンプファイアが雨などで出来ない場合を想定して、各班に室内でも出来る出し物を準備して貰っていたのである。

さて、夕立のため一度中止のキャンプファイアであったが、4と5段階の全体をコミにすると、86人、69.9%である。3段階では、27名、22.0%である。これをコミにすると、113名、91.9%である。1と2段階では、10名、8.1%である。ここでも、キャンプファイアが指示されているといえよう。平均値で見ても、 4.02 ± 1.05 点と高い数値を示してくれている。

4-9 歌などについて (表12)

本格的に歌をシーズンスポーツ①に取り入れることにしたのは、平成11年の第4回目からである。歌は愛吟集から、童謡や学生唱歌というものであり、懐かしい歌ばかりを選択して、キャンプファイアの中で歌い、楽しんだ。8)練習などでは、歌うことに若干の銜いが見たれたが、実際のキャンプファイアでは、歌うことに抵抗を示さなくなった観がある。全体をコミにした場合では、4と5段階が、57名、46.4%、3段階が、42名、34.1%である。1と2の段階では、24名、19.5%が消極的な回答を示していることがわかった。3と4と5段階をコミにしてみると、99名、80.5%が指示している回答である。しかし、2割ほどの学生には、歌う喜びや楽しさをまだ十分に理解して貰っていないことが示されたので、解決するような方策が必要である。

(5) 食事について (表13)

「食事はおいしく、量的にも適当だったか」では、1と2段階が、各年度で若干のばらつきが見られる。各年度をコミにしてみると、55

表13 シーズンスポーツ①事後ガイダンス時のアンケート調査(男女コミ)

	1996 (平成8年) n=41		1997 (平成9年) n=34		1998 (平成10年) n=42		1999 (平成11年) n=42		2000 (平成12年) n=35		2002 (平成14年) n=46		各年度を コミにした場合 n=240						
	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	
5 眞 的 に 適 は お い た か 量 5 段階 評価の 得点化	5 7 17.1 18 43.9	5 11 32.4 18 52.9	5 12 28.6 24 57.1	5 4 9.5 19 45.2	5 3 8.6 12 29.4	5 4 9.5 19 45.2	5 3 8.6 12 29.4	5 4 9.5 19 45.2	5 3 8.6 12 29.4	5 4 9.5 19 45.2	5 4 8.7 11 26.1	5 4 8.7 11 26.1	5 4 8.7 11 26.1	5 4 8.7 11 26.1	5 4 8.7 11 26.1	5 4 8.7 11 26.1	5 4 8.7 11 26.1	5 4 8.7 11 26.1	5 4 8.7 11 26.1
6-1 よ く 眠 れ た か 5 段階 評価の 得点化	5 16 39.0 28 68.3	5 14 41.2 18 52.5	5 14 33.3 28 66.7	5 17 40.5 29 69.0	5 4 12.9 23 57.1	5 15 42.9 23 57.1	5 4 12.9 23 57.1	5 15 42.9 23 57.1	5 4 12.9 23 57.1	5 4 12.9 23 57.1	5 16 34.8 20 43.5	5 16 34.8 20 43.5	5 16 34.8 20 43.5	5 16 34.8 20 43.5	5 16 34.8 20 43.5	5 16 34.8 20 43.5	5 16 34.8 20 43.5	5 16 34.8 20 43.5	5 16 34.8 20 43.5
6-2 傳 た 秘 し な か つ 5 段階 評価の 得点化	5 18 43.9 25 61.0	5 12 35.3 17 50.0	5 17 40.5 24 57.2	5 22 52.4 26 61.9	5 11 31.4 20 57.1	5 11 31.4 20 57.1	5 11 31.4 20 57.1	5 11 31.4 20 57.1	5 11 31.4 20 57.1	5 11 31.4 20 57.1	5 23 50.0 31 67.4	5 23 50.0 31 67.4	5 23 50.0 31 67.4	5 23 50.0 31 67.4	5 23 50.0 31 67.4	5 23 50.0 31 67.4	5 23 50.0 31 67.4	5 23 50.0 31 67.4	5 23 50.0 31 67.4
6-3 食 欲 は あ つ た か 5 段階 評価の 得点化	5 22 53.7 32 78.0	5 16 47.1 22 64.7	5 22 52.4 30 71.4	5 20 47.6 33 78.5	5 16 45.7 25 71.4	5 16 45.7 25 71.4	5 16 45.7 25 71.4	5 16 45.7 25 71.4	5 16 45.7 25 71.4	5 16 45.7 25 71.4	5 14 30.4 21 45.7	5 14 30.4 21 45.7	5 14 30.4 21 45.7	5 14 30.4 21 45.7	5 14 30.4 21 45.7	5 14 30.4 21 45.7	5 14 30.4 21 45.7	5 14 30.4 21 45.7	5 14 30.4 21 45.7
	$\bar{X}=4.17$ S=0.86	$\bar{X}=3.82$ S=0.94	$\bar{X}=3.64$ S=1.19	$\bar{X}=3.31$ S=1.00	$\bar{X}=3.14$ S=1.03	$\bar{X}=3.14$ S=1.03	$\bar{X}=3.31$ S=1.00	$\bar{X}=3.14$ S=1.03	$\bar{X}=3.14$ S=1.03	$\bar{X}=2.61$ S=1.26	$\bar{X}=2.61$ S=1.26	$\bar{X}=2.61$ S=1.26	$\bar{X}=2.61$ S=1.26	$\bar{X}=2.61$ S=1.26	$\bar{X}=3.26$ S=1.19	$\bar{X}=3.26$ S=1.19	$\bar{X}=3.26$ S=1.19	$\bar{X}=3.26$ S=1.19	$\bar{X}=3.26$ S=1.19
	$\bar{X}=3.93$ S=1.10	$\bar{X}=3.65$ S=1.35	$\bar{X}=3.79$ S=1.16	$\bar{X}=3.93$ S=1.13	$\bar{X}=3.97$ S=1.07	$\bar{X}=3.97$ S=1.07	$\bar{X}=3.93$ S=1.13	$\bar{X}=3.97$ S=1.07	$\bar{X}=3.97$ S=1.07	$\bar{X}=3.34$ S=1.45	$\bar{X}=3.34$ S=1.45	$\bar{X}=3.34$ S=1.45	$\bar{X}=3.34$ S=1.45	$\bar{X}=3.34$ S=1.45	$\bar{X}=3.72$ S=1.27	$\bar{X}=3.72$ S=1.27	$\bar{X}=3.72$ S=1.27	$\bar{X}=3.72$ S=1.27	$\bar{X}=3.72$ S=1.27
	$\bar{X}=3.66$ S=1.51	$\bar{X}=3.44$ S=1.46	$\bar{X}=3.67$ S=1.37	$\bar{X}=4.00$ S=1.19	$\bar{X}=3.74$ S=1.09	$\bar{X}=3.74$ S=1.09	$\bar{X}=4.00$ S=1.19	$\bar{X}=3.74$ S=1.09	$\bar{X}=3.74$ S=1.09	$\bar{X}=4.04$ S=1.15	$\bar{X}=4.04$ S=1.15	$\bar{X}=4.04$ S=1.15	$\bar{X}=4.04$ S=1.15	$\bar{X}=4.04$ S=1.15	$\bar{X}=4.19$ S=1.38	$\bar{X}=4.19$ S=1.38	$\bar{X}=4.19$ S=1.38	$\bar{X}=4.19$ S=1.38	$\bar{X}=4.19$ S=1.38
	$\bar{X}=4.27$ S=0.95	$\bar{X}=4.03$ S=1.06	$\bar{X}=4.07$ S=1.22	$\bar{X}=4.19$ S=0.97	$\bar{X}=4.03$ S=1.12	$\bar{X}=4.03$ S=1.12	$\bar{X}=4.19$ S=0.97	$\bar{X}=4.03$ S=1.12	$\bar{X}=4.03$ S=1.12	$\bar{X}=3.46$ S=1.31	$\bar{X}=3.46$ S=1.31	$\bar{X}=3.46$ S=1.31	$\bar{X}=3.46$ S=1.31	$\bar{X}=3.46$ S=1.31	$\bar{X}=3.37$ S=1.67	$\bar{X}=3.37$ S=1.67	$\bar{X}=3.37$ S=1.67	$\bar{X}=3.37$ S=1.67	$\bar{X}=3.37$ S=1.67

(注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

名, 22.9%が1と2段階である。3段階は, 83名, 34.65である。4と5の段階では, 102名, 42.5%がおおむね良好であると回答を示している。3と4と5段階をコミにしてみると, 185名, 77.1%になる。平均値でも, 3.26 ± 1.19 点を示している。しかしながら, 2割ほどが満足出来なかった方に回答していることも今後注意を払う必要がある。

(6) 健康について

6-1 良く眠れたか (表13)

1と2の段階では, 若干のばらつきはあるが, 全体をコミにしてみると, 45名, 18.8%が問題を抱えていた方に回答している。3段階では, 49名, 20.4%が, まあまあであるといえると回答し, 4と5段階では, 146名, 60.8%がよく眠れたほうに回答を示している。3段階以上をコミにすると, 195名, 81.3%である。平均値では, 3.72 ± 1.27 点を示して, 比較的良好ということがいえよう。事前調査でも同様の調査を行ったが, 男子の平均点がやや高く, 女子は, やや低かった。

6-2 便秘をしなかったか (表13)

1と2の段階, すなわち便秘があった方に回答した者は, 各年度をコミにしてみると, 40名, 16.6%である。3段階のまあまあの者は, 57名, 23.8%である。4と5の段階である快調を示す者は, 143名, 59.6%である。3段階以上をコミにしてみると, 200名, 83.3%である。平均値で見ると, 4.19 ± 1.38 点を示している。便秘に関しては比較的良好な状態であることを示しているといえよう。事前調査の結果では, 男子が女子を大きく平均値で上回り, それだけ便秘にならないと回答を示していたが, 事後調査の結果では, 男女コミの平均値では, 4点を超えていることがわかった。男女共にお通じでは快調であったといえよう。

6-3 食欲はあったか (表13)

食欲のない方である1と2段階では, 全体を通して, 23名, 9.6%の者が回答を示している。

3段階のまあまあでは, 54名, 22.5%が回答をしている。4と5段階の食欲がある方に回答をした者は, 163名, 67.9%である。3段階以上をコミにしてみると, 217名, 90.4%が, おおむね良好であると回答していると捉えられよう。平均値で見ると, 3.37 ± 1.67 点である。

6-4 普段と比較して, 体調はどうだったか (表14)

1と2の段階では, 全体を通じて, 22名, 9.2%の者が体調の変化がある方に回答をしている。3段階のまあまあでは, 62名, 25.8%である。4と5段階の, 良い方に回答した者は, 156名, 65.0%である。3段階以上をコミにすると, 218名, 90.8%になる。平均値で見ても, 3.88 ± 1.08 点と, 高い得点を示している。それだけ体調の変化が無いことを物語るものといえよう。

(7) シーズンスポーツ①のスタッフについて

7-1 先生 (教員・ガイド) と親しくできたか (表14)

1と2段階では, 各年度を通じて親しく出来なかった方に回答するものが少なかった。全体をコミにして見ると, わずかに13名, 5.4%である。4と5の親しく出来た方を見ると, 180名, 75.0%である。3段階以上をコミにして眺めると, 227名, 94.6%である。平均値で見ても, 3.71 ± 1.46 点である。おおむね良好な接し方ができたといえよう。

7-2 先生の話に興味を持って聞いたか (表14)

興味を持って聞いたという4と5の段階では, 各年度とも多くの人数分布を示している。各年度をコミにして見ると, 180名, 75.0%である。3段階が, 50名, 20.8%である。3段階以上をコミにして見ると, 230名, 95.8%にもなる。1と2段階では, 11名, 4.6%を示すに過ぎない。平均値においても, 4.00 ± 0.99 点と高得点を示している。

表14 シーズンスポーツ①事後ガイダンス時のアンケート調査 (男女コミ)

	1996 (平成8年) n=41		1997 (平成9年) n=34		1998 (平成10年) n=42		1999 (平成11年) n=42		2000 (平成12年) n=35		2002 (平成14年) n=46		各年度を合計した場合 n=240																				
	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%																	
6-4 普段と比較して体 調はどうだったか 5段階 評価の 得点化	5	14	34.2	28	68.3	5	13	38.3	20	58.8	5	13	31.0	30	71.4	5	18	51.4	26	74.3	5	12	26.1	27	58.7	5	85	35.4	156	65.0			
	4	14	34.2			4	7	20.6			4	10	23.8			4	8	22.9			4	15	32.6			4	71	29.6					
	3	10	24.4			3	12	35.3			3	14	33.3			3	8	19.0			3	9	21.4			3	62	25.8					
	2	2	4.8	3	7.3	2	2	5.9	2	5.9	2	1	2.4	3	7.1	2	2	4.8	4	9.5	2	0	0.0	0	0.0	2	6	13.0	10	21.7			
	1	1	2.4			1	0	0.0			1	2	4.8			1	2	4.8			1	0	0.0			1	4	8.7			1	9	3.8
	n=41	100.0			n=34	100.0			n=42	100.0			n=42	100.0			n=35	100.0			n=46	100.0			n=240	100.0			n=240	100.0			
	\bar{X} =3.93				\bar{X} =3.91				\bar{X} =3.88				\bar{X} =4.26			\bar{X} =3.85			\bar{X} =3.54			\bar{X} =3.88			\bar{X} =3.71			\bar{X} =4.00			\bar{X} =3.88		
	S=1.01				S=1.00				S=1.06				S=0.85			S=0.85			S=1.26			S=1.08			S=1.46			S=0.99			S=1.08		
7-1 先生と親し む機会が多か 5段階 評価の 得点化	5	23	56.1	33	80.5	5	11	32.4	23	67.6	5	12	28.6	27	64.3	5	17	48.6	28	80.0	5	18	39.1	34	73.9	5	99	41.3	180	75.0			
	4	10	24.4			4	12	35.3			4	17	40.5			4	11	31.4			4	16	34.8			4	81	33.8			4	81	33.8
	3	7	17.1			3	9	26.2			3	5	11.9			3	6	17.1			3	9	21.4			3	47	19.6			3	47	19.6
	2	1	2.4	1	2.4	2	2	5.9	2	5.9	2	1	2.3	2	4.8	2	1	2.8	1	6.5	2	2	3	2.8	3	6.5	2	11	4.5	13	5.4		
	1	0	0.0			1	0	0.0			1	1	2.3			1	1	2.4			1	0	0.0			1	2	0.8			1	2	0.8
	n=41	100.0			n=34	100.0			n=42	100.0			n=42	100.0			n=35	100.0			n=46	100.0			n=240	100.0			n=240	100.0			
	\bar{X} =4.34				\bar{X} =3.94				\bar{X} =4.19				\bar{X} =3.81			\bar{X} =4.26			\bar{X} =4.07			\bar{X} =3.71			\bar{X} =3.71			\bar{X} =4.00			\bar{X} =3.71		
	S=0.86				S=0.92				S=0.92				S=1.02			S=0.85			S=0.93			S=1.46			S=1.46			S=0.99			S=1.46		
7-2 先生の 話を聞けたか 5段階 評価の 得点化	5	17	41.5	34	82.9	5	13	38.2	24	70.6	5	16	38.1	33	78.5	5	12	34.3	28	80.0	5	16	34.8	33	71.7	5	87	36.3	180	75.0			
	4	17	41.5			4	11	32.4			4	17	40.5			4	14	33.3			4	17	37.1			4	92	38.3			4	92	38.3
	3	7	17.0			3	8	23.5			3	7	15.7			3	10	23.8			3	7	20.0			3	50	20.8			3	50	20.8
	2	2	0.0	0	0.0	2	2	5.9	2	5.9	2	1	2.3	2	4.8	2	4	9.5	5	11.9	2	2	0	0.0	2	4.3	2	9	3.8	11	4.6		
	1	0	0.0			1	0	0.0			1	1	2.3			1	1	2.4			1	0	0.0			1	2	0.8			1	2	0.8
	n=41	100.0			n=34	100.0			n=42	100.0			n=42	100.0			n=35	100.0			n=46	100.0			n=240	100.0			n=240	100.0			
	\bar{X} =4.24				\bar{X} =4.03				\bar{X} =4.10				\bar{X} =3.81			\bar{X} =4.14			\bar{X} =4.02			\bar{X} =4.00			\bar{X} =4.00			\bar{X} =4.00			\bar{X} =4.00		
	S=0.73				S=0.94				S=0.93				S=1.06			S=0.73			S=0.88			S=0.88			S=0.88			S=0.99			S=0.99		

(注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

(8) シーズンスポーツ①の成果について

8-1 人間関係の大切さを認識したか (表15)

人間関係の大切さを認識し他という4と5段階を見ると、各年度とも高い数値を示している。そこで各年度をコミにして眺めてみると、208名、86.7%である。3段階のまあまあでは、29名、12.1%である。3段階以上をコミにしてみると、237名、98.8%にもなる。1と2段階が、3名、1.2%と極めて少ない。この項目では、圧倒的に人間関係の大切さを理解したといえる回答結果を得た。平均値においても、 4.38 ± 0.76 点の高得点を示している。

8-2 真の人間的な触れ合いの機会を得たか (表15)

4と5の段階を見ても、高い数値を示している。全体でみてみると、197名、82.0%が真の触れ合いの機会を得た方に回答を寄せている。3段階では、33名、13.8%である。1と2の段階では、3名、1.2%を示しているに過ぎない。3以上の段階をコミにしてみると、230名、95.8%である。平均値を見ても、 3.59 ± 1.79 点である。

8-3 新しい友人ができたか (表15)

4と5の段階では、197名、82.0%が新しい友人が出来たという方に回答をしている。3段階では、33名、13.8%を示している。1と2段階、すなわち、新しい友人が出来なかった方に回答した者は、10名、4.2%に過ぎない。平均値で見ても、 3.99 ± 1.79 点を示している。新しい友人が出来たという回答をする者が多いことは、嬉しいことである。

8-4 友人の新しい面を発見したか (表15)

各年度の、4と5の段階では、高い数値を示していることが分かる。全体をコミにして眺めると、195名、81.3%に者が、発見した方に回答をしている。3段階のまあまあでは、39名、16.25%である。1と2の段階では、わずか6名、2.5%である。平均値で見ても、 3.90 ± 1.35 点と高い数値を示している。

8-5 共同生活の重要性を認識したか (表16)

共同生活の重要性を認識したという4と5の段階では、195名、81.3%が回答をしている。1と2段階では、6名、2.5%が回答をしたに過ぎない。平均値で見ても、 4.20 ± 0.98 点と高い得点を示している。

8-6 規律正しい生活を認識したか (表16)

ここでも4と5の段階をコミにして眺めると、166名、69.2%が認識できた方に回答を寄せている。1と2の段階では、16名、6.6%の者が規律正しい生活にはなじめなかった方に回答を寄せている。規律正しい生活を認識できたことを示す平均値を見ても、 3.89 ± 0.98 点と、ほぼ4点になる高い数値を示している。

8-7 協力・協調の精神を認識したか (表16)

4と5段階の協力・協調できたとする全体の回答を見ると、188名、78.3%である。1と2段階では、わずかに3名、1.2%である。平均値も、 4.21 ± 0.83 点と高い数値を示し、協力・協調の精神を理解できたことを物語っているといえる。

8-8 自然の大切さを認識できたか (表16)

4と5段階の各年度を見ても、高い数値を示していることが分かる。全体をコミにして見ると、211名、87.9%の者が、自然の大切さを認識したと回答を寄せている。1と2の段階では、わずかに3名、1.3%が認識できない方に回答をしている。平均値を見ても、 4.49 ± 0.74 点と、かなり高い数値を示し、それだけ自然の大切さを認識していることを物語っているといえる。

8-9 自然の厳しさ、偉大さを認識したか (表17)

1と2の段階は、わずかに2名、0.8%である。4と5段階ののでは、215名、89.6%の者が認識出来たと回答をしている。3段階以上をコミにしてみると、238名、99.2%にもなる。自然の厳しさ、偉大さ認識できたという回答が多く、シーズンスポーツ①の存在意義も高まるといえる。平均値で見ても、 4.57 ± 0.70 点と調査の中では2番目に高い数値である。

表15 シーズンスポーツ①事後ガイダンス時のアンケート調査(男女コミ)

	1996 (平成8年) n=41		1997 (平成9年) n=34		1998 (平成10年) n=42		1999 (平成11年) n=42		2000 (平成12年) n=35		2002 (平成14年) n=46		各年度をコミにした場合 n=240					
	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %
8-1 人間関係を認識したか 5段階評価の得点化	5	18 43.9	5	13 38.2	5	23 54.8	5	27 64.3	5	20 57.1	5	26 56.5	5	127 52.9	5	148 61.7	5	197 82.0
	4	14 34.1	4	17 50.0	4	15 35.7	4	9 21.4	4	13 37.2	4	13 28.5	4	81 33.8	4	49 20.4	4	33 13.8
	3	9 22.0	3	4 11.8	3	4 9.5	3	6 14.3	3	2 0 0.0	3	2 0 0.0	3	2 0 0.0	3	29 12.1	3	33 13.8
	2	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0	2	2 4.3	2	2 0.8	2	7 2.9
	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	1 2.2	1	1 0.4	1	3 1.2
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0	n=240	100.0	n=240	100.0
	\bar{X} =4.22		\bar{X} =4.26		\bar{X} =4.45		\bar{X} =4.50		\bar{X} =4.51		\bar{X} =4.33		\bar{X} =4.38		\bar{X} =4.33		\bar{X} =3.59	
	S=0.79		S=0.67		S=0.67		S=0.74		S=0.61		S=0.97		S=0.76		S=0.97		S=1.79	
8-2 真の人間関係を築いたか 5段階評価の得点化	5	16 39.0	5	10 29.4	5	16 38.1	5	20 47.6	5	14 40.0	5	19 41.3	5	148 61.7	5	148 61.7	5	197 82.0
	4	14 34.1	4	14 41.1	4	13 31.0	4	15 35.7	4	14 40.0	4	13 28.3	4	49 20.4	4	49 20.4	4	33 13.8
	3	9 22.0	3	10 29.4	3	11 26.2	3	6 14.3	3	7 20.0	3	10 21.7	3	33 13.8	3	33 13.8	3	33 13.8
	2	2 4.9	2	0 0.0	2	2 4.8	2	1 2.4	2	0 0.0	2	3 6.5	2	7 2.9	2	7 2.9	2	7 2.9
	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	1 2.2	1	1 0.4	1	3 1.2	1	3 1.2
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0	n=240	100.0	n=240	100.0
	\bar{X} =4.07		\bar{X} =4.00		\bar{X} =4.02		\bar{X} =4.29		\bar{X} =4.20		\bar{X} =4.00		\bar{X} =3.59		\bar{X} =4.00		\bar{X} =3.59	
	S=0.91		S=0.78		S=0.92		S=0.81		S=0.76		S=1.05		S=1.79		S=1.05		S=1.79	
8-3 新しい友達ができたか 5段階評価の得点化	5	25 61.0	5	20 58.8	5	23 54.8	5	33 78.6	5	20 57.1	5	27 58.7	5	148 61.7	5	148 61.7	5	197 82.0
	4	8 19.5	4	10 29.4	4	7 16.7	4	5 11.9	4	8 22.9	4	11 23.9	4	49 20.4	4	49 20.4	4	33 13.8
	3	5 12.2	3	4 11.8	3	8 19.0	3	4 9.5	3	7 20.0	3	5 10.9	3	33 13.8	3	33 13.8	3	33 13.8
	2	2 4.9	2	0 0.0	2	3 7.1	2	0 0.0	2	0 0.0	2	2 4.3	2	7 2.9	2	7 2.9	2	7 2.9
	1	1 2.4	1	0 0.0	1	1 2.3	1	0 0.0	1	0 0.0	1	1 2.2	1	1 0.4	1	3 1.2	1	3 1.2
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0	n=240	100.0	n=240	100.0
	\bar{X} =4.32		\bar{X} =4.47		\bar{X} =4.14		\bar{X} =4.69		\bar{X} =4.37		\bar{X} =4.33		\bar{X} =3.99		\bar{X} =4.33		\bar{X} =3.99	
	S=1.04		S=0.71		S=1.12		S=0.64		S=0.81		S=0.99		S=1.79		S=0.99		S=1.79	
8-4 友人の新しい面を発見したか 5段階評価の得点化	5	15 36.6	5	18 52.9	5	20 47.6	5	26 61.9	5	15 42.8	5	22 47.8	5	113 47.1	5	113 47.1	5	195 81.3
	4	14 34.1	4	9 26.5	4	10 23.8	4	12 28.6	4	17 48.6	4	15 32.6	4	82 34.1	4	82 34.1	4	39 16.2
	3	8 19.5	3	6 17.7	3	11 26.2	3	4 9.5	3	3 8.6	3	6 13.0	3	39 16.2	3	39 16.2	3	39 16.2
	2	2 4.9	2	1 2.9	2	1 2.3	2	0 0.0	2	0 0.0	2	2 4.3	2	5 2.1	2	5 2.1	2	5 2.1
	1	2 4.9	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	1 2.2	1	1 0.4	1	1 0.4	1	1 0.4
	n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0	n=240	100.0	n=240	100.0
	\bar{X} =3.93		\bar{X} =4.29		\bar{X} =4.17		\bar{X} =4.52		\bar{X} =4.34		\bar{X} =4.20		\bar{X} =3.90		\bar{X} =4.20		\bar{X} =3.90	
	S=1.10		S=0.87		S=0.91		S=0.67		S=0.64		S=0.98		S=1.35		S=0.98		S=1.35	

注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

表 16 シーズンスポーツ①事後ガイダンス時のアンケート調査 (男女コミ)

8-5 性を認識したか 5段階 評価の 得点化	1996 (平成8年) n=41		1997 (平成9年) n=34		1998 (平成10年) n=42		1999 (平成11年) n=42		2000 (平成12年) n=35		2002 (平成14年) n=46		各年度を コミにした場合 n=240								
	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%	段階 人数	%					
8-5 性を認識したか 5段階 評価の 得点化	5	17	41.5	34	82.9	5	17	41.5	34	82.9	5	17	41.5	34	82.9						
	4	17	41.5	24	70.6	4	11	26.2	30	71.4	4	15	32.6	37	80.4						
	3	6	14.6	3	9.0	3	11	26.2	4	12	28.6	3	6	13.0	3	39	16.2				
	2	1	2.4	1	2.9	2	1	2.4	1	2.4	2	0	0.0	0	0.0	2	5	21.6			
	1	0	0.0	1	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1	1	2.2	3	6.6	1	1	0.4		
		n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0						
		$\bar{X}=4.22$		$\bar{X}=4.06$		$\bar{X}=4.14$		$\bar{X}=4.52$		$\bar{X}=4.34$		$\bar{X}=4.20$		$\bar{X}=4.25$							
		S=0.79		S=0.89		S=0.90		S=0.67		S=0.64		S=0.98		S=0.85							
8-6 を認識したか 5段階 評価の 得点化	5	12	29.3	26	63.4	5	16	38.1	33	78.6	5	19	41.3	32	69.6						
	4	14	34.1	4	8	23.5	4	17	40.5	4	16	45.7	4	13	28.3	4	78	32.5			
	3	12	29.3	3	9	26.5	3	8	19.0	3	10	23.8	3	10	21.7	3	58	24.2			
	2	0	0.0	3	7.3	2	1	2.3	1	2.3	2	1	2.9	1	2	3	6.5	4	12	5.0	
	1	3	0.0	1	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1	1	2.2	1	4	1.6	
		n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0						
		$\bar{X}=3.78$		$\bar{X}=3.79$		$\bar{X}=4.14$		$\bar{X}=3.94$		$\bar{X}=3.94$		$\bar{X}=4.00$		$\bar{X}=3.98$							
		S=1.11		S=1.09		S=0.81		S=0.95		S=0.80		S=1.05		S=0.98							
8-7 を認識したか 5段階 評価の 得点化	5	16	39.0	33	80.5	5	19	45.2	32	76.2	5	16	45.7	37	67.4						
	4	17	41.5	4	11	32.4	4	13	31.0	4	11	31.4	4	15	34.8	31	67.4				
	3	7	17.1	3	8	23.5	3	9	21.4	3	8	22.9	3	14	30.4	3	48	20.0			
	2	0	0.0	1	2.4	2	1	2.3	1	2.3	2	1	2.9	1	1	2.2	1	2	3	1.2	
	1	1	2.4	1	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	
		n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=34	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0						
		$\bar{X}=4.15$		$\bar{X}=4.12$		$\bar{X}=4.19$		$\bar{X}=4.57$		$\bar{X}=4.23$		$\bar{X}=4.21$		$\bar{X}=4.21$							
		S=0.88		S=0.88		S=0.86		S=0.59		S=0.81		S=0.83		S=0.83							
8-8 を認識したか 5段階 評価の 得点化	5	27	65.9	37	90.2	5	27	64.3	38	90.5	5	25	71.4	31	88.6						
	4	10	24.4	4	8	23.5	4	11	26.2	4	11	26.2	4	16	34.8	5	21	45.6	37	80.4	
	3	3	7.3	3	6	17.7	3	3	7.3	3	1	2.4	3	4	11.4	3	8	17.4	4	62	25.8
	2	1	2.4	1	2.4	0.0	2	0	0.0	0	0.0	2	1	2.4	1	2.4	2	1	2.2	1	2.2
	1	0	0.0	1	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1	0	0.0	1
		n=41	100.0	n=34	100.0	n=42	100.0	n=42	100.0	n=35	100.0	n=46	100.0	n=240	100.0						
		$\bar{X}=4.54$		$\bar{X}=4.41$		$\bar{X}=4.55$		$\bar{X}=4.62$		$\bar{X}=4.60$		$\bar{X}=4.24$		$\bar{X}=4.49$							
		S=0.74		S=0.78		S=0.67		S=0.66		S=0.69		S=0.82		S=0.74							

注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

8—10 自然の美しさを知ることが出来たか (表17)

自然の美を知ることが出来たという4と5段階では、220名、91.7%が回答を寄せている。1と2段階では、わずかに2名、0.8%である。平均値で眺めても、 4.60 ± 0.72 点を示している。この数値はこの調査の中で1番高い得点である。数値が示しているように、ほとんどの参加者が自然の美に対する認識を深めてくれたといえよう。

(9) シーズンスポーツ①の感想

9—1 楽しかったか (表17)

全体を眺めても、4と5段階の人数分布が多い。全体をコミにしてみると、214名、89.2%である。ほとんどの参加者が楽しかった方に回答をしてくれている。1と2段階では、わずかに3名、1.2%である。平均値で眺めても、 4.35 ± 1.12 点を示している。ここでも高い数値を示していることが分かる。したがって、全体を通じて楽しく過ごしてくれたといえよう。

9—2 苦しかったか (表17)

蓼科山登山を想定して、「苦しかったか」という質問項目を作ったが、苦しかったことを意味する1と2段階では、64名、26.7%の者が回答を寄せている。逆に、苦しくないことを意味する4と5段階では、103名、42.9%の者が回答をしている。3段階以上を全部コミにしてみると、176名、73.3%の者が含まれる。平均値で見ると、 3.18 ± 1.33 点となる。分布が1～5段階に比較的分散しているため平均値は高くなっていないといえる。

9—3 よい経験をした (表18)

全体で眺めてみると、4と5段階では、213名、88.8%の者がいい経験をしたと、回答を示している。1と2の段階、すなわち、いい経験が出来なかったでは、わずかに1名である。平均値で見ても、 4.55 ± 0.70 点という高得点を示している。

9—5 他の人にもこのようなプログラムを

勧めたい (表18)

4と5段階の勧めたいでは、159名、66.3%の者が、勧めたいとしているのに比して、1と2の勧めたく無い方では、23名、9.5%の者が回答していることが分かった。1割近い参加者が、勧めたくないということであるから真摯に受け止めて改善するところや、見直しのところなどを検討してみる必要がある。

Ⅲ 要 約

以上、シーズンスポーツ①の参加者の「事前調査」と「事後ガイダンス」時のアンケート調査を基に、集計結果を逐一みてきたが、その結果から次の知見を引き出すことができよう。

1. 事前調査から見た場合、「時期・参加人数」に関しては、おおむね支持を受けたといえる。ただし、参加者の男女バランスが取れているわけではなく、今後工夫をする必要がある。「施設」については、「洗心寮」のように学校法人の山の家を利用することが最適であるが、諸般の理由で、第4回目から7回まで、女神湖畔の国民宿舎「蓼泉閣」になったが、おおむね指示されているといえよう。

もともとリゾートホテルのような快適な所に宿泊するものではなく、出来るだけ質素な生活を通しての授業を行うことを旨としている。「健康状態や体力状態」に関しては、事前のガイダンスでも周知徹底が出来、登山やハイキングに対応できる参加者であったといえる。「食べ物の好き嫌い」に関しては、女子の方が、男子に比して好き嫌いの者が多く見られる傾向であったが、嫌いなものも食べて貰うということも集団協同生活を行うこの授業の方針であり、宿舎の献立に委ねることにした。結果的には、問題になるようなこともなかった。「疲労や」「睡眠」については、男女の違いが若干見られたが、おおむね良好であったといえる。「便秘について」は、男子に比して、女

表17 シーズンスポーツ①事後ガイダンス時のアンケート調査 (男女コミ)

	1996 (平成8年) n=41		1997 (平成9年) n=34		1998 (平成10年) n=42		1999 (平成11年) n=42		2000 (平成12年) n=35		2002 (平成14年) n=46		各年度を コミにした場合 n=240	
	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %
8-9 自然の 大きさを 認識した か	5	29 70.7	5	22 64.7	5	30 71.4	5	29 69.1	5	25 71.4	5	29 63.0	5	164 68.3
	4	10 24.4	4	9 26.5	4	9 21.4	4	10 23.8	4	5 14.3	4	8 17.4	4	51 21.3
	3	2 4.9	3	3 8.8	3	3 7.1	3	3 7.1	3	5 14.3	3	7 15.2	3	23 9.6
	2	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0	2	2 4.3	2	2 0.8
	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0
5段階 評価の 得点化		n=41 100.0	n=34 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=35 100.0	n=46 100.0	n=46 100.0	n=46 100.0	n=240 100.0	X̄=4.57 S=0.70	
8-10 自然の 美しさを 知ることが できたか	5	32 78.1	5	23 67.6	5	29 69.0	5	31 73.8	5	26 74.3	5	30 65.2	5	171 71.3
	4	6 14.6	4	9 26.5	4	10 23.8	4	9 21.4	4	5 14.3	4	10 21.7	4	51 20.4
	3	2 4.9	3	2 5.9	3	3 7.1	3	2 4.8	3	4 11.3	3	5 10.9	3	23 7.5
	2	1 2.4	2	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0	2	0 0.0	2	1 2.2	2	2 0.8
	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0
5段階 評価の 得点化		n=41 100.0	n=34 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=35 100.0	n=46 100.0	n=46 100.0	n=46 100.0	n=240 100.0	X̄=4.68 S=0.69	
9-1 楽し しかった たか	5	30 73.2	5	23 67.6	5	23 54.8	5	33 78.6	5	24 68.6	5	26 56.5	5	159 66.3
	4	7 17.1	4	5 14.7	4	15 35.7	4	6 14.3	4	9 25.7	4	13 28.3	4	55 22.9
	3	3 7.3	3	6 17.6	3	3 7.1	3	3 7.1	3	2 5.7	3	6 13.0	3	23 9.6
	2	1 2.4	2	0 0.0	2	1 2.3	2	0 0.0	2	0 0.0	2	1 2.2	2	3 1.2
	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0	1	0 0.0
5段階 評価の 得点化		n=41 100.0	n=34 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=35 100.0	n=46 100.0	n=46 100.0	n=46 100.0	n=240 100.0	X̄=4.61 S=0.74	
9-2 苦し しかった たか	5	13 31.7	5	5 14.7	5	14 33.3	5	8 19.1	5	8 22.9	5	7 15.2	5	55 22.9
	4	8 19.5	4	3 8.8	4	10 23.8	4	9 21.4	4	7 20.0	4	11 23.9	4	48 20.0
	3	11 26.8	3	13 38.2	3	12 28.6	3	10 23.8	3	11 31.4	3	16 34.8	3	73 30.4
	2	5 12.2	2	10 29.9	2	3 7.1	2	11 26.2	2	5 14.3	2	5 10.9	2	39 16.3
	1	4 9.8	1	3 8.8	1	3 7.1	1	4 9.5	1	4 11.4	1	7 15.2	1	25 10.4
5段階 評価の 得点化		n=41 100.0	n=34 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=42 100.0	n=35 100.0	n=46 100.0	n=46 100.0	n=46 100.0	n=240 100.0	X̄=3.51 S=1.33	

注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

表 18 シーズンスポーツ①事後ガイダンス時のアンケート調査 (男女コミ)

	1996 (平成8年) n=41		1997 (平成9年) n=34		1998 (平成10年) n=42		1999 (平成11年) n=42		2000 (平成12年) n=35		2002 (平成14年) n=46		各年度をコミにした場合 n=240	
	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %	段階	人数 %
9-3 良かった 経験 を	5 4 3 2 1 n=41	29 70.7 41 100.0	5 4 3 2 1 n=34	58.8 25 73.5	5 4 3 2 1 n=42	28 66.7 38 90.5	5 4 3 2 1 n=42	30 71.5 39 92.9	5 4 3 2 1 n=35	25 71.4 32 91.4	5 4 3 2 1 n=46	28 60.9 38 82.6	5 4 3 2 1 n=240	160 66.7 213 88.8
5段階 評価の 得点化	$\bar{X}=4.71$ S=0.46		$\bar{X}=4.32$ S=0.88		$\bar{X}=4.57$ S=0.67		$\bar{X}=4.64$ S=0.62		$\bar{X}=4.63$ S=0.65		$\bar{X}=4.41$ S=0.83		$\bar{X}=4.55$ S=0.70	
9-4 登ろう て み たい	5 4 3 2 1 n=41	10 24.4 21 51.2	5 4 3 2 1 n=34	29.4 15 44.1	5 4 3 2 1 n=42	9 21.4 17 40.5	5 4 3 2 1 n=42	15 35.7 28 66.7	5 4 3 2 1 n=35	11 31.4 21 60.0	5 4 3 2 1 n=46	10 21.7 22 47.8	5 4 3 2 1 n=240	65 27.1 124 51.7
5段階 評価の 得点化	$\bar{X}=3.54$ S=1.16		$\bar{X}=3.50$ S=1.26		$\bar{X}=3.02$ S=1.46		$\bar{X}=3.83$ S=1.17		$\bar{X}=3.86$ S=0.94		$\bar{X}=3.48$ S=1.11		$\bar{X}=3.43$ S=1.30	
9-5 他の 人 と 進 め たい	5 4 3 2 1 n=41	18 43.9 30 73.2	5 4 3 2 1 n=34	13 38.2 20 58.8	5 4 3 2 1 n=42	16 38.1 20 47.6	5 4 3 2 1 n=42	22 52.4 35 83.4	5 4 3 2 1 n=35	17 48.6 23 65.7	5 4 3 2 1 n=46	21 45.8 31 67.4	5 4 3 2 1 n=240	107 44.6 159 66.3
5段階 評価の 得点化	$\bar{X}=4.10$ S=0.97		$\bar{X}=3.94$ S=0.95		$\bar{X}=3.55$ S=1.37		$\bar{X}=4.24$ S=1.05		$\bar{X}=4.09$ S=1.01		$\bar{X}=3.98$ S=1.16		$\bar{X}=3.98$ S=1.11	

注) 5段階評価の得点化とは、各項目の評価1～5段階をそのまま1点～5点として、平均値・標準偏差を算出したものである。

子の方が便秘に悩む者が多いことが分かった。「スポーツ・運動の好き嫌い」では、必ずしも好きではないとする者もいたが、これという支障はなかった。「参加理由」では、1位が「面白そうだから」、2位が「教職の単位として必要だから」、3位が「自然に触れたいから」、4位が「登山・ハイキングが好きだから」、5位が「短期間の授業だから」となっている。

2. 事後ガイダンス時のアンケート調査から見た5段階評価では、「時期・参加人数・施設」(事前調査でも調べた項目であるが)、施設に関しては若干の意見(最ときれいな所で、もう少し近代的な施設の所で等々)が見られたが、各項目ともおおむね支持を受けているといえる。「プログラム」1～8の項目については、朝の体操では4人に1人が消極的な回答を示している。この点は理解をさせ、全員参加させる指導強化が必要である。蓼科山・ハイキングは、楽しんでいただけるといえる。第4回目からのキャンプファイアも指示を受けたといえる。「食事」についても若干の意見も見られたが、おおむね支持を得られたといえる。「健康」についても、おおむね問題なく進捗できたといえる。「スタッフ(教員・ガイド)」との関係も、おおむね良好であった。「シーズンスポーツ①の成果」については、「人間関係の大切さや、人間的な触れ合い、新しい友人を作る、友人の新しい面を見つけ出した、共同生活の重要性を認識した、自然の大切さを認識できた、自然の厳しさ、偉大さを認識した、自然の美しさを知ることが出来た」など、高い評価を得ることができた。「シーズンスポーツ①の感想」では、「楽しかった」

と「よい経験をした」項目などに高い評価を得ることができた。感想文なども2, 3示したいところであるが、紙幅の関係で割愛させていただいた。

以上、調査結果から得られた知見を眺めてきたが、今後のシーズンスポーツ①の実施するにあたり、貴重な基礎資料として活用していく所存である。

注

1. 二松学舎大学発行の「二松学舎大学の現状と課題一附 教育研究活動報告書一、平成8から10年度」の52頁, 1999.
2. 前傾書: 53頁。
3. 前傾書: 69頁。
4. 前傾書: 70頁。
5. 表2に示したものは、過去7回実施したシーズンスポーツ①の参加者延べ人数であるが、平成13年('01)に実施した「事前調査n=49と、事後ガイダンス時のn=46」のアンケート調査が、本研究から除外されている。実は、筆者の不注意から収納ミスをしたために集計に間に合わなかったのである。いま手元にあり、集計を行ってみると、おおかた各年度の集計結果と同じような傾向を示す資料を得たことを記載しておきたい。
なお、登山・ハイキングを中心に行うシーズンスポーツ①が、平成15年度から無くなり、「テニス・ゴルフ」の授業に変更になったのは、筆者が二松学舎大学附属高等学校への校長としての職務を拝命したためである。
6. 厚生統計協会:「国民の衛星の動向」, 第50巻第9号, 452頁, 2003.
7. 深田久弥:「日本百名山」, 新潮文庫, 270-273頁, 第24印版, 1995.
8. 前傾書: 266頁。
9. 玉川学園出版部発行の改訂増補, 平成7年(1995)5月の12印版から、「夏の思い出, 雪山賛歌, 線路は続くよどこまでも, 静かな湖畔, 蛙の合唱, 手のひらを太陽に, 森の熊さん, おおブレネリ, 大きな栗の木の下で, おお牧場はみどり, キャンプの歌」などをキャンプファイア時に全員で大いに楽しんだ。